ICOM

取扱説明書

車載型デジタルトランシーバー

IC-DPR110



この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。必ず登録申請をして、電子登録状が発行されてから、または書面の登録状（登録事項証明書）が手元に届いてからご使用ください。無線局の登録申請手続きをしないで運用されますと、不法無線局となり、1年以下の拘禁刑又は100万以下の罰金に処せられることがありますのでご注意ください。

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明（工事設計認証）を受けた登録局対応の車載型デジタルトランシーバーです。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

取扱説明書の構成

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「簡易取扱説明書」（冊子）、「取付ガイド」（別紙）、弊社ホームページ掲載の「取扱説明書」（PDFファイル）で構成されています。

簡易取扱説明書（冊子）

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取付ガイド（別紙）

接続や設置方法について記載しています。

取扱説明書（本書）

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。
◎通話のしかた
◎簡単なグループ通話のしかた
◎個別呼び出し機能による通話
◎そのほかの機能
◎Bluetooth機能
◎サブチャンネルPTT機能
◎別売品とその使いかた

登録商標/著作権

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビープ 、コマンドマイクは、アイコム株式会社の登録商標です。
AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。
Bluetoothワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。アイコム株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

ユーザー登録

https://www.icom.co.jp/にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム（サポート→法人のお客様（または、個人のお客様）→ユーザー登録）にしたがって必要事項を入力してください。

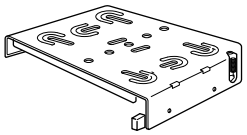
本製品の特徴

◎IP54（防塵形と防まつ形）★1 の性能に対応できるように設計されています。
◎デジタル通信により、高音質な交信ができます。
◎チャンネル音声案内機能により、通話チャンネルを切り替えたとき、選択した通話チャンネル番号を音声で読み上げます。
◎秘話機能★2や拡張秘話機能★2を設定することで、他局に通話内容を傍受されるのを防止できます。
◎個別呼び出し機能★2や緊急呼び出し機能★2に対応しています。
◎GPSユニット（別売品：UX-267）★2を接続することで、自局の位置情報を受信（測位）して、送信できます。
◎コマンドマイク（別売品：HM-253）を接続することで録音/再生機能★2により、送信したときの通話、および自局宛ての通話を録音、および再生できます。
◎卓上電源装置（別売品：PS-230A）と組み合わせることで、屋内のAC電源を使用できます。
◎個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」、「3T」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。★3

★1 「IP表記」（P.ii）をご覧ください。
★2 お買い上げの販売店で設定が必要な機能です。
★3 AMBE+2方式を採用している機種に対応しています。

はじめに

付属品


車載ブラケット


取り付けネジ一式★1
（車載ブラケット用）


圧着端子
（DC電源ケーブル用）


DC電源ケーブル


予備ヒューズ
（125V/5A）


マイクハンガー★2
（取り付けネジ一式を含む）

□ 簡易取扱説明書
□ 取付ガイド
□ 保証書

★1 車載ブラケットを別売品のPS-230Aに固定するときにも使用します。
★2 マイクロホンは、同梱されていません。
防水スピーカーマイクロホン（HM-254）、コマンドマイク（HM-253）などの別売品をご用意していますので、必要に応じてお買い求めください。

対応チャンネル

◎陸上・海上用チャンネル：CH01～CH14、CH16～CH82★1
◎呼出用チャンネル　：呼出CH（CH15）★2
◎上空用チャンネル　：CH S01～CH S15★3

★1 CH26～CH30とCH71～CH82、CH S11～CH S15はデータ推奨チャンネルです。
★2 一時的な呼び出しをするときに使用します。
（「簡易取扱説明書」P.16）
多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後の通話は、空いている陸上・海上用チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。
※通話相手のデジタル簡易無線機によっては、呼出CHを選択する相手と通話できます。
★3 上空用チャンネルでは送信できません。
出荷時、上空用チャンネルの使用は、「OFF」（P.8-12）に設定されています。

音声圧縮（符号化）方式

本製品は、米国DVSI社の開発したAMBE（Advanced Multi-Band Excitation）方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent No. #8,359,197.

防塵/防水性能

マイクロホンを無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。
次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

◎雨の中や水滴が付着、またはぬれた手で、マイクロホンや外部スピーカーを付けたり、はずしたりしたとき
◎別売品のコマンドマイク（HM-253）、または防水スピーカーマイクロホン（HM-254）が接続されていない、または正しく接続されていない
◎落としたりして、強い衝撃が加わったとき
◎本製品を分解、または改造したとき
◎水や湯を水道の蛇口から直接当てたとき
◎水や海水につけたとき
◎－20℃～＋60℃以外の環境で使用したとき

IP表記

製品の防塵/防水性能を表すための表記です。
IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。
また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X（防塵形）：試験用粉塵を1m³あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのち取り出して、無線機として動作すること
IPX4（防まつ形）：いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

はじめに

別売品の使用による防塵/防水性能

防水スピーカーマイクロホン(HM-254)、コマンドマイク(HM-253)を無線機本体に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。

※上記以外の別売品(9章)については、防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。

取り扱い上のご注意

◎テレビ·ラジオなどのAV機器や、携帯電話などの電子機器を近くで使用すると、電波障害を受けることがありますので、はなして設置してください。

◎直射日光の当たる場所に設置したり、長時間放置したりしないでください。
移動局として車内に設置する場合、炎天下では、車内の温度が極端に上昇し、本製品に悪影響を与えます。
また、真冬は、ある程度車内の温度を上げてからご使用ください。

◎車載運用では、バッテリー保護のためにも、1日の使用が終わったときは、必ず本製品の電源を切ってください。

◎磁気カードをマイクロホンやスピーカーに近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。

◎本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

◎本製品の故障、誤動作、不具合あるいは停電などの外部要因により、通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

◎本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。周囲の状況(ネットワークの状態、天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によって、通信できないことがあります。
緊急呼び出し関連の機能についても、補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

放熱について

本製品は長時間運用すると、後面部の温度が高くなります。
子供や周囲の人が後面部に触れないようにご注意ください。
また、本製品はできるだけ風通しのよい、放熱の妨げにならない場所に設置してください。

車両に取り付けるときのご注意

◎自動車の板金部に沿ってDC電源ケーブルを通す場合、保護用テープを巻くことをおすすめします。
DC電源ケーブルと板金部がこすれると、外被が破れ、ショートの原因となることがあります。

◎本製品を自動車に取り付けたあと、本製品の電源を入れた状態で、自動車のブレーキランプ、ヘッドライト、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。

◎アンテナの同軸ケーブルからも微小ですが電波がふく射されるので、自動車のコンピューター(コントロールユニット)、およびハーネスから遠ざけ、ハーネスと交差する場合は、ハーネスと直角になるように取り付けてください。

◎自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼさないようにするため、無線機、アンテナ、同軸ケーブルなどは、次のような電波障害留意機器より20cm以上はなして取り付けてください。

- **●エンジン関係：燃料噴射装置/エンジンコントロールユニット(ガソリン車)、グローコントロールユニット(ディーゼル車)**
- **●トランスミッション関係：電子制御式変速機/4WDコントロールユニット**
- **●その他：ECS/EPS/ABS/ETACS/フルオートエアコン/オートヒーターコントロールユニット/Gセンサー**

◎本製品を操作中、自動車のコンピューター(コントロールユニット)に影響をおよぼしていることがわかった時点で、本製品の電源を切り、DC電源ケーブルを本製品から抜いてください。

◎本製品、および別売品を取り付ける場合、安全運転に支障がないように配線してください。

◎エアバッグシステム装備車に取り付けるときは、このシステムの動作に影響をおよぼす取り付けかたはしないでください。

運転時のご注意

◎安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。

◎無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に停車させてください。

◎安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で運転しないでください。

電波法上のご注意

◎無線局の運用に当たっては、電波利用料を納付する必要があります。(納入告知書により、納付期限内に納付)
◎登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。
再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
◎本製品は、電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
ご自分で分解や改造をしないでください。
◎本製品は、アンテナを含めて技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。そのため、ご使用いただけるアンテナは、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けたものに限定されます。同梱の「アンテナについて」を参考にしてください。技術基準適合証明(工事設計認証)を受けていないアンテナを使用すると、電波法違反で罰せられる場合がありますので、ご注意ください。
◎他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
◎本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。
CH01～CH14、呼 出CH(CH15)、CH16～CH82は上空での運用はできませんのでご注意ください。
上空で使用する場合は、CH S01～CH S15を使用してください。
無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の拘禁刑又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

GPSに関する注意事項

GPS(Global Positioning System)は、米国が開発、および運用管理をしています。
同国の政策上、予告なしに測位精度の悪化、GPS衛星の調整、試験、および軌道修正などで、いくつかの衛星信号が発信停止する場合や、メンテナンスなどで衛星から異常電波が発信される場合があります。
このような場合、誤作動したり、測位精度が著しく悪化したりする場合があります。
下記の注意事項を十分配慮して、GPSをお使いください。

測位精度に関する注意事項
受信衛星の配置や電磁障害、受信信号のマルチパスなどの影響により、測位精度が著しく悪化した状態(位置飛びなど)が発生する場合がありますので、ご注意ください。

装備に関する注意事項
本製品は、ノイズを発生する回路や機器からなるべくはなしてください。
GPS信号の周波数帯(1.575GHz付近)や、その整数分の1となる周波数の高調波が、受信や測位に影響を与える場合があります。

電波干渉についてのご注意

Bluetoothの通信では2.4GHz帯の電波を使用するため、次のことがらに注意してください。
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。
◎この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
◎万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、Bluetoothのご使用をお控えください。
◎その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンター(P.10-5)へお問い合わせください。

2.4GHz現品表示記号の意味

「2.4」:2.4GHz帯を使用する無線設備
「FH」:FHSS方式
「1」:想定干渉距離が10m以下
「----」:全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可



電磁ノイズ

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電気製品、および電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

◎ LED照明器具　◎ 電磁調理器　◎ 給湯器
◎ 自動車に搭載された電子機器　◎ 太陽光発電装置

もくじ

はじめに ―――――――――――――――――――― i
■ 取扱説明書の構成 …… i
■ 登録商標/著作権 …… i
■ ユーザー登録 …… i
■ 本製品の特徴 …… i
■ 付属品 …… ii
■ 対応チャンネル …… ii
■ 音声圧縮(符号化)方式 …… ii
■ 防塵/防水性能 …… ii
■ IP表記 …… ii
■ 別売品の使用による防塵/防水性能 …… iii
■ 取り扱い上のご注意 …… iii
■ 放熱について …… iii
■ 車両に取り付けるときのご注意 …… iii
■ 運転時のご注意 …… iii
■ 電波法上のご注意 …… iv
■ GPSに関する注意事項 …… iv
■ 電波干渉についてのご注意 …… iv
■ 2.4GHz現品表示記号の意味 …… iv
■ 電磁ノイズ …… iv

1. 各部の名称と機能 ―――――――― 1-1
■ 前面部 …… 1-1
■ 表示部 …… 1-2
■ 後面部 …… 1-3

2. 通話のしかた ―――――――――――― 2-1
■ 通話するときのアドバイス …… 2-2

3. 簡単なグループ通話のしかた ―――― 3-1
■ ユーザーコードを設定して通話するには …… 3-1

4. 個別呼び出し機能による通話 ―――― 4-1
■ 個別呼び出しの種類について …… 4-1
■ 個別呼び出し機能を設定するには …… 4-2
■ 個別呼び出し機能で通話するには …… 4-3

5. そのほかの機能について ―――――― 5-1
■ ロック機能 …… 5-1
■ 受信専用機能 …… 5-1
■ モニター機能 …… 5-1
■ ポケットビープ機能 …… 5-1
■ 呼び出しメロディー機能 …… 5-2
■ 着信表示 …… 5-2
■ 拡声器機能 …… 5-2
■ 秘話/拡張秘話機能 …… 5-3
■ 発着信履歴機能 …… 5-5
■ プライベートチャンネル機能 …… 5-7
■ プライベートチャンネルスキャン機能 …… 5-8
■ メモリーチャンネルスキャン機能 …… 5-9
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー) …… 5-10
■ 録音/再生機能 …… 5-11
■ GPS機能 …… 5-13
■ 送信出力の切り替え機能 …… 5-13

6. Bluetooth機能 ―――――――――――― 6-1
■ Bluetooth部の仕様 …… 6-1
■ ペアリング/接続のしかた …… 6-1
■ Bluetoothの初期化 …… 6-2
■ Bluetoothの設定一覧 …… 6-3
■ Bluetoothの設定項目について …… 6-4

7. サブチャンネルPTT機能 ―――――― 7-1
■ サブチャンネルPTT機能とは …… 7-1
■ サブチャンネルを設定する …… 7-1
■ サブチャンネルで送信する …… 7-2
■ サブチャンネルで個別呼び出しをする …… 7-2
■ サブチャンネルで受信する …… 7-3

8. 各種機能の設定 ―――――――――― 8-1
■ 設定一覧(無線機表示) …… 8-1
■ 設定一覧(コマンドマイク表示) …… 8-2
■ 設定モードに移行するには …… 8-4
■ 設定のしかた …… 8-4
■ 設定項目について …… 8-5

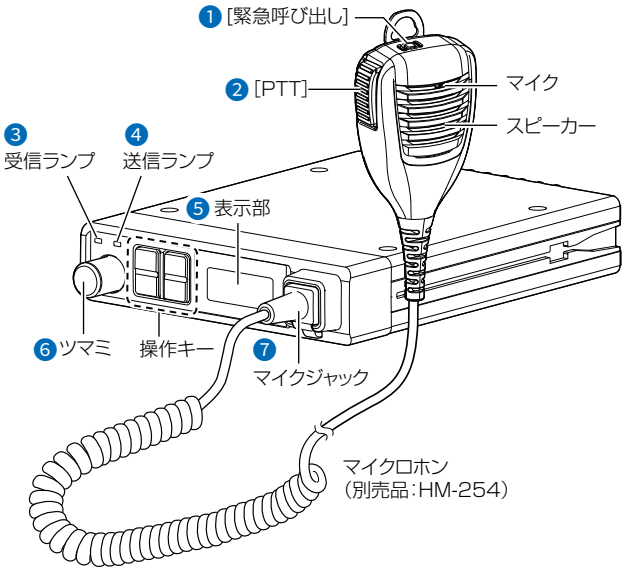
9. 別売品とその使いかた ―――――― 9-1
■ 別売品についてのご注意 …… 9-1
■ ホームページに掲載 …… 9-1
■ 別売品一覧表 …… 9-1
■ HM-253(コマンドマイク) …… 9-2
■ AM-6(マグネット基台付きマイクロホン) …… 9-3
■ SM-28(デスクトップマイクロホン) …… 9-4

10. 保守について ―――――――――― 10-1
■ 日常の保守と点検について …… 10-1
■ ヒューズの交換について …… 10-1
■ 外部機器接続ケーブルの端子について …… 10-2
■ 故障かな?と思ったら …… 10-4
■ アフターサービスについて …… 10-5

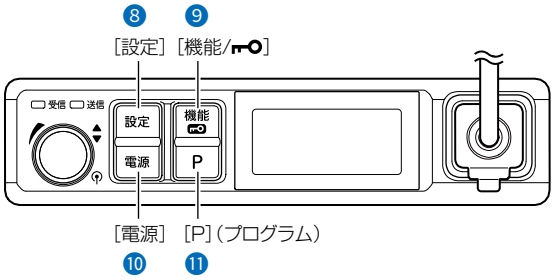
11. 定格 ―――――――――――――――― 11-1
■ 無線機本体 …… 11-1

1 各部の名称と機能

■ 前面部



＜操作キー＞



❶ [緊急呼び出し]
緊急呼び出し機能が設定されている場合、長く(5秒以上)押すと、緊急呼び出しを開始します。(P.5-10)
プライベートチャンネル機能が設定されている場合、短く押すと、プライベートチャンネルに切り替わります。(P.5-7)

❷ [PTT]
押すと送信状態、はなすと待ち受け状態に切り替わります。

❸ 受信ランプ
緑色に点灯:受信中
橙色に点滅:着信設定時(P.8-5)

❹ 送信ランプ
赤色に点灯:送信中

❺ 表示部(P.1-2)

❻ ツマミ
◎回すと音量が変わります。
◎ツマミを短く押してから回すと、チャンネル番号を選択できます。

❼ マイクジャック
別売品のマイクロホン(HM-254など)を接続します。
※別売品のマイクロホン(AM-6、SM-28)を使用する場合は、外部スピーカーの接続が必要です。(P.9-3、P.9-4)

❽ [設定]
◎短押し:通話後、強制的に終話します。
◎長押し:送信出力を切り替えます。

❾ [機能/m-o]
◎短押し:ユーザーコード/秘話/個別/グループ画面などを表示します。
◎長押し:ロック機能をON/OFFします。(P.5-1)

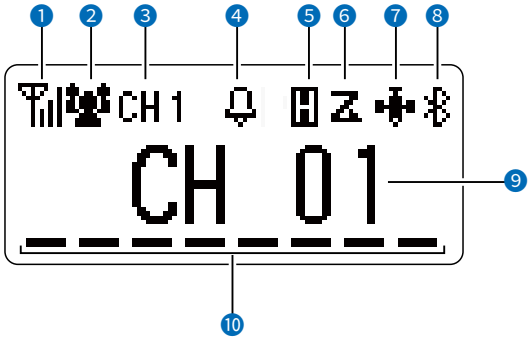
❿ [電源]
電源をON/OFFします。

⓫ [P](プログラム)
◎短押し:通話チャンネルを表示します。
◎長押し:押しているあいだは、モニター機能が動作します。
※モニター機能は、音を聞きながら音量を調整するとき、またはユーザーコードが異なる他局の通話や秘話機能を使用しない他局の通話を聞くときに使用します。
※モニター機能は、ロック機能動作中でも使用できます。(P.5-1)

ご参考
コマンドマイク(別売品:HM-253)が接続されているときは、無線機本体のキーでチャンネル番号、個別番号、グループ番号、ユーザーコードの切り替え操作が無効になります。

1　各部の名称と機能

■ 表示部



❶ 電波状態表示
受信している電波の強度が、下図の3段階(目安)で表示されます。
(弱)(中)(強)
※「」は、電源が入っているときは常に表示されます。

❷ 個別呼び出し表示
個別呼び出し機能が設定されているときは、個別呼び出しの選択状態が表示されます。
:個別
:全局
:グループ
:グループ(メンバー指定あり)

❸ ガイド表示
現在のチャンネル番号を表示したり、着信などの状態を表示したりします。
:個別呼び出し受信時
:個別呼び出し機能で通話中
:発信履歴(P.5-5)
:着信履歴(P.5-6)

※秘話/拡張秘話機能が設定されているときは、「CH」で表示(例:CH 1)されます。(P.5-3)

❹ ベル表示
ポケットビープ機能が設定されているときに表示されます。(P.5-1)
呼び出しを受けると、点滅します。

❺ 送信出力表示
各通話チャンネルの送信出力(High/Low)設定が表示されます。
H:ハイパワー(5W)
L:ローパワー(1W)
R:受信専用チャンネル選択時、上空用チャンネル設定時

❻ スキャン表示
スキャン動作中に表示されます。

❼ GPS表示
GPSユニット(別売品:UX-267)使用時、GPSレシーバーの受信状態が表示されます。(P.5-13)
消灯:GPS機能を使用していないとき
点滅:自局の位置情報を受信(測位)中
表示:GPS機能ON時で自局の位置情報の測位が完了

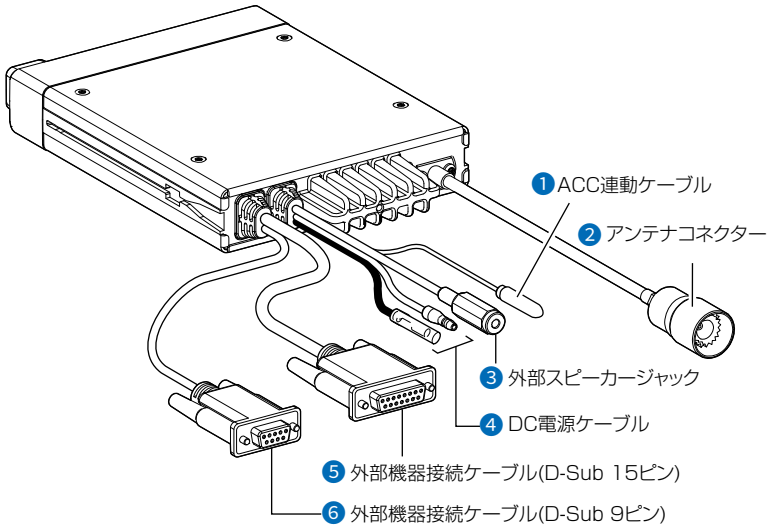
❽ Bluetooth機能表示
:Bluetooth機能がON(P.6-1)
:Bluetooth機器と接続中

❾ 個別番号/設定内容表示
音量、チャンネル番号、個別番号などが表示されます。
※設定モードでは、選択した設定項目が表示されます。(P.8-4)
また、ツマミを回すと、音量が表示されます。

❿ Sメーター表示
受信している電波の強度が、下図の8段階(目安)で表示されます。
(弱)
(中)
(強)

1　各部の名称と機能

■ 後面部



★無線機によっては、外部機器接続ケーブルが装着されていません。
詳しくは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

❶ ACC連動ケーブル(青色)
自動車のACC(アクセサリー)スイッチの操作と連動して、本製品の電源を「入」/「切」できるようするときは、ACC(アクセサリー)の位置で12V、または24Vになり、OFFの位置で0Vになるラインに接続します。
※ACCと連動させないときは、接続の必要はありません。ほかの機器の端子などに接触しないように、ACC連動ケーブル先端の保護キャップ(黒色)を付けた状態でご使用ください。

❷ アンテナコネクター(M型)
アンテナを接続するコネクターです。

❸ 外部スピーカージャック(φ3.5mm/4Ω/モノラル)
外部スピーカー(別売品:SP-30、SP-35、SP-35L、SP-35H)、または卓上電源装置(別売品:PS-230A)のスピーカープラグと接続します。
※SM-28、AM-6(別売品:マイクロホン)を使用するときは、外部スピーカーが必要です。

❹ DC電源ケーブル
DC電源ケーブル(付属品)を使用して、12V/24V系のバッテリーと接続します。
※入力電圧に応じて、12V/24Vを自動認識します。
※卓上電源装置(別売品:PS-230A)と接続することもできます。(P.9-1)

【減電圧/過電圧表示について】
供給されるDC電源電圧が低い場合は「減電圧」、高い場合は「過電圧」と表示され、警告音が鳴ります。
動作範囲の電圧に戻ると、通常の表示に戻り、操作できます。
「過電圧」表示が消えても、過電圧が原因で故障している場合がありますので、無線機の点検が必要です。
※DC電源電圧が低い場合、電源が切れることがあります。
※減電圧は2段階で遷移します。
◎第1段階(送信不可、受信可)
[PTT]を押すと、ビープ音が鳴り、「減電圧」が数秒表示されたあと、通常の表示に戻ります。
◎第2段階(送受信不可)
「減電圧」が表示され、警告音が鳴り続けます。

❺ 外部機器接続ケーブル(D-sub 15ピン)★
将来的な機能拡張用(シリアルデータ通信など)に使用します。(P.10-2)

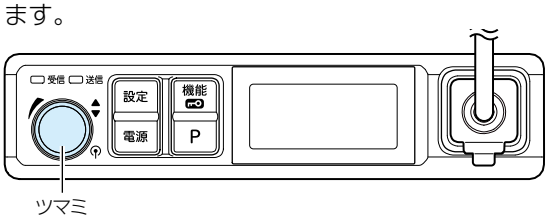
❻ 外部機器接続ケーブル(D-sub 9ピン)★
GPSユニット(別売品:UX-267)を接続したり、将来的な機能拡張用(シリアルデータ通信など)に使用したりします。(P.10-3)

2 通話のしかた

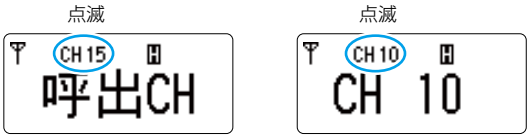
相手と同じ通話チャンネルに合わせるだけの簡単な通話のしかたについて説明しています。

1. 通話チャンネルを合わせる

1. ツマミを短く押します。
   • 表示(例：CH15)が点滅します。
2. ツマミを回して相手と同じ通話チャンネルに合わせます。



ツマミ



ツマミを押したときの表示　　ツマミを回して切り替えたときのチャンネル表示(例:CH10)

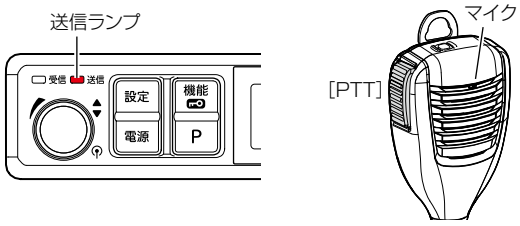
※相手と通話チャンネルが異なるときは、通話できません。
※陸上/海上で運用する場合は「CH01～CH14」、「CH15(呼出CH)」、「CH16～CH82」、上空で運用する場合は「CH S1～CH S15」★を使用してください。
★出荷時の設定では上空用チャンネル(CHS1～CH S15)を選択できません。
必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.8-12)

ご参考　チャンネル番号音声案内機能について
電源を入れたときや、チャンネル番号を変更したとき、選択された通話チャンネル番号を読み上げます。
※使用しないときは、設定モードの「チャンネル音声案内」でOFFに変更できます。(P.8-6)

2. 呼び出しをする(送信する)

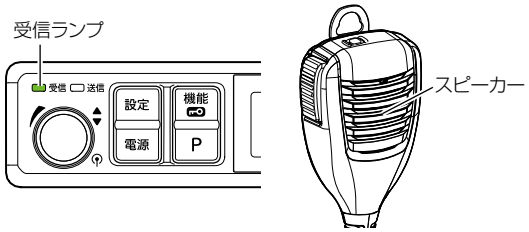
ご注意
受信ランプが緑色に点灯しているときは、ほかに通話している無線局(同じ通話チャンネルで誰かが通話中)があります。
ほかの無線局が通話中は、送信しないでください。
※呼び出しをするときは、受信ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

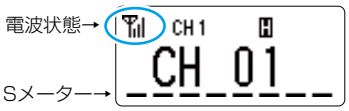
[PTT]を押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。
• [PTT]を押しているあいだは、送信ランプが赤色に点灯します。



3. 呼び出しを受ける(受信する)

[PTT]をはなすと待ち受け状態になります。
電波を受信中は、受信ランプが緑色に点灯して、受信している電波状態が表示されます。
待ち受け状態のときは、受信ランプが消灯しています。

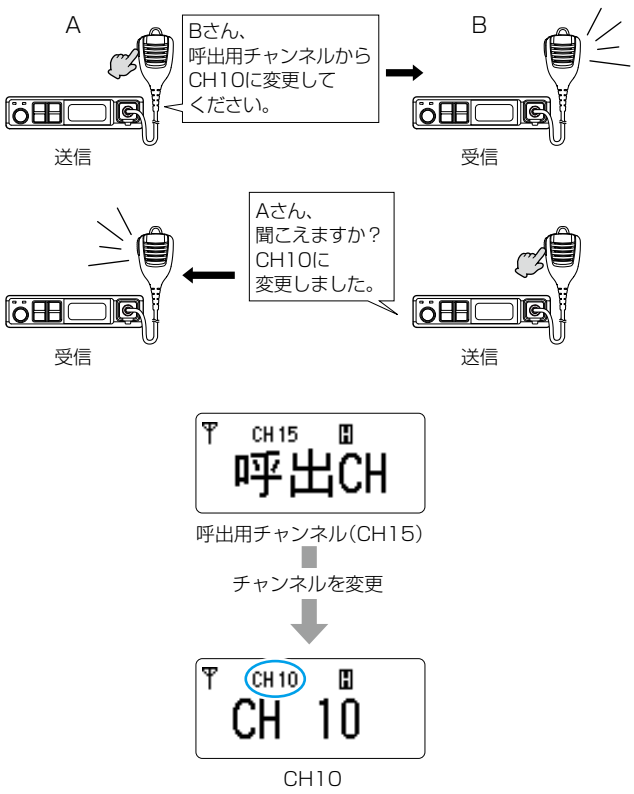




受信中の表示

【応答するときは】
受信ランプが消灯し、待ち受け状態になってから、[PTT]を押します。
※相手が送信しているときは、[PTT]を押しても混信防止機能(P.2-2)が動作して、「プップッ…」と鳴りつづけ、送信できません。相手の通話が終了してから、送信してください。
※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、お互いの会話がスムーズになります。

【通話チャンネルが決まっていない場合は】



呼出用チャンネル

工場出荷時や全設定初期化時、電源を入れると、呼出用チャンネル(CH15)★が表示されます。このチャンネルは一時的な呼び出しにだけ使用します。

呼び出した相手と通話をつづける場合は、空いている通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82)に変更してから通話してください。

※電源を入れなおすと、前回選択した通話チャンネルが表示されます。

※ユーザーコード、秘話機能、個別呼び出し機能による通話には使用できません。

★本製品以外では、「呼出CH」や「CALL CH」と表示されるチャンネルです。

■ 通話するときのアドバイス

送信時間制限

1回の送信で連続して通話できる時間は、「5分以内」と電波法で定められています。

制限時間の10秒前になると、「ピッ」と鳴ります。

連続通話時間が5分になると、警告音が「ブッ」と鳴って、自動的に送信を停止します。停止後、1分間は送信できません。

通話を再開する場合は、1分後に[PTT]を押してください。

混信防止(キャリアセンス)機能

無線局の運用では、自分が送信中に、ほかの人が同じ通話チャンネルで送信すると、混信を受け通話ができないことがあります。

また、ほかの人が通話中のチャンネルで送信すると、その通話を妨害することになります。

このような混信を防止するために、同じチャンネルで一定レベルの電波を本製品が受信している場合は、通話中とみなし、送信できないよう自動的に制御する機能をキャリアセンスといいます。

キャリアセンスは、本製品が送信を開始するときに動作します。

3秒以上通話が途切れた場合、本製品が通話を終了したと判断し、次の送信開始時からキャリアセンスの機能が動作します。

なお、ほかの電子機器からの電波を受信した場合(混信や妨害波を含む)についてもキャリアセンスが動作し送信できないことがありますが、故障ではありません。

本製品は、電波法によりこのキャリアセンスの搭載が義務付けられています。

電波干渉

比較的せまいエリアで、多くの局が通話するような状態では、電波の干渉(相互変調)による混信が発生することがあります。

このような混信は、グループごとに通話チャンネルの組み合わせを適切に設定することで防止できます。

通話範囲

通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。

(送信出力:5W)

見通しのよい場所 :約10km

市街地 :約1～3km

※通話範囲であっても、山や建物などが障害物となって、通話しにくくなることがあります。

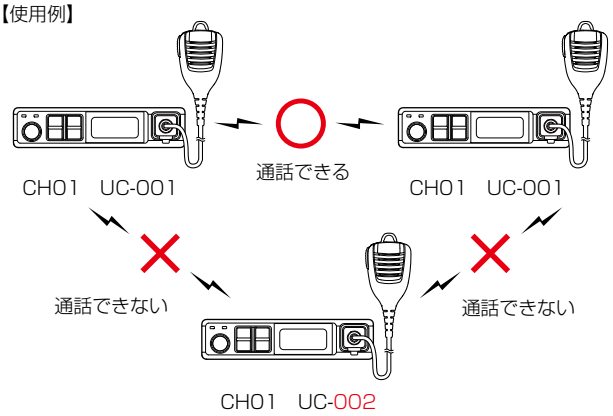
そのときは、場所を少し移動して通話してください。

また、テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなれてご使用ください。

3 簡単なグループ通話のしかた

複数の通話相手と同じユーザーコード(UC)を設定するだけで、通話グループが簡単に構成できます。
通話チャンネルとユーザーコードが一致したすべての相手と通話できます。

【使用例】



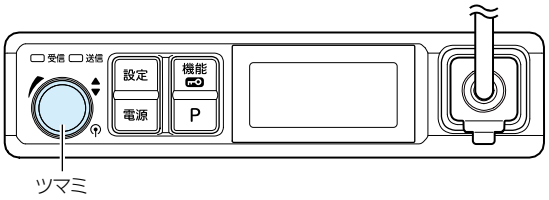
※秘話機能や個別呼び出し機能とも併用できます。
※「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)選択時は、ユーザーコードを使用できないため、本章の操作はできません。

【ユーザーコードの設定について】
グループ通話をするときは、選択した通話チャンネルに設定されたユーザーコードが通話相手と同じユーザーコードであることを確認してください。

■ ユーザーコードを設定して通話するには

1. 通話チャンネルを合わせる

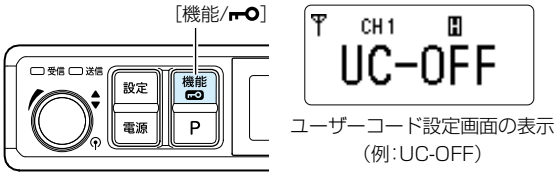
1. ツマミを短く押します。
   • 表示(例 : CH1)が点滅します。
2. ツマミを回して相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
   • 選択範囲 : 01～14、16～82



※通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを設定する場合(P.8-6)、ここで選択したユーザーコードだけが変更できます。

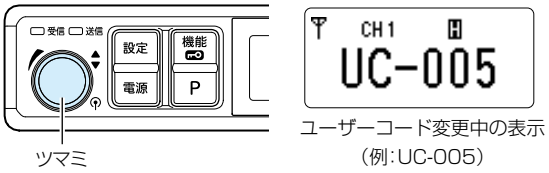
2. ユーザーコードを設定する

1. [機能/🔑]を短く押します。
   • 「UC-OFF」が表示されます。



ユーザーコード設定画面の表示
(例:UC-OFF)

2. ツマミを回してユーザーコード(例 : 005)を変更します。
   • 選択範囲 : OFF(000)、001～511



ユーザーコード変更中の表示
(例:UC-005)

【編集できる桁を変更するには】
ツマミを長く(約1秒)押したあと、[機能/🔑]、または[P]を短く押して、編集する桁を選択します。
ツマミを回して、ユーザーコードを選択します。
ツマミを長く(約1秒)押して、内容を確定します。

※表示を切り替えてから、何も操作しない状態が10秒つづくと、通話チャンネル表示に戻ります。
※「UC-OFF」の場合、ユーザーコードを使用して通話する相手の音声は聞こえますが、自分の音声は、ユーザーコードを設定している相手には聞こえません。

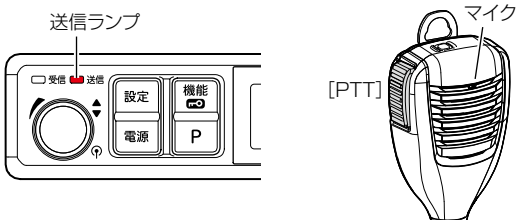
■ ユーザーコードを設定して通話するには

3. 呼び出しをする(送信する)

ご注意
受信ランプが緑色に点灯しているときは、ほかに通話している無線局(同じ通話チャンネルでユーザーコードが異なる誰かが通話中)があります。
ほかの無線局が通話中は、送信しないでください。
※呼び出しをするときは、受信ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

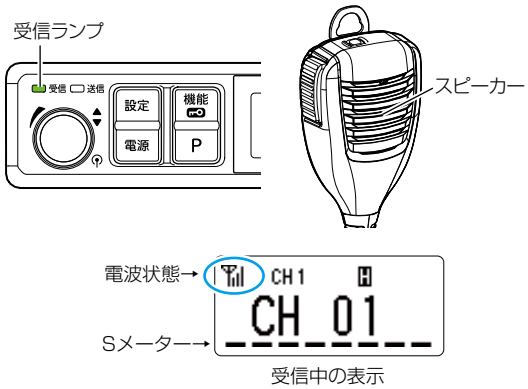
[PTT]を押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信ランプが赤色に点灯します。



4. 呼び出しを受ける(受信する)

[PTT]をはなすと待ち受け状態になります。
電波を受信中は、受信ランプが緑色に点灯して、受信している電波状態が表示されます。
待ち受け状態のときは、受信ランプが消灯しています。



※ほかに通話している無線局(同じ通話チャンネルでユーザーコードが異なる誰かが通話中)の電波を受信しているときも、受信ランプが緑色に点灯し、電波状態が表示されます。

【応答するときは】
受信ランプが消灯し、待ち受け状態になってから、
[PTT]を押します。

4 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出しの種類について

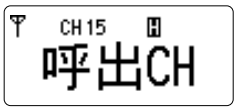
通話チャンネルとユーザーコードを一致させた状態で、さらに選択した相手を呼び出せる個別呼び出し機能は、次の3種類の呼び出しかたがあります。

◎全局呼び出し
◎個別呼び出し
◎グループ呼び出し

※個別呼び出し機能を使用するには、設定モードでの設定が必要です。(P.4-2)

「呼出CH」表示での機能制限について

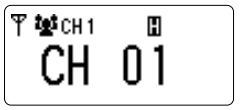
CH15は、呼出用チャンネルで、「呼出CH」と表示されます。「呼出CH」表示のときは、グループ通話(P.3-1)や秘話機能(P.5-3)、個別呼び出し機能(P.4-1)による通話に使用できません。



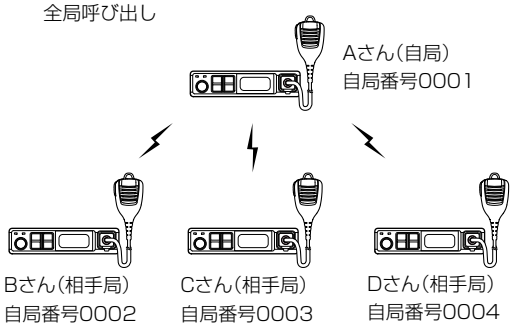
呼出用チャンネル表示

◎全局呼び出し

通話チャンネルとユーザーコードが同じ相手局(例:Bさん/Cさん/Dさん)を一斉に呼び出します。

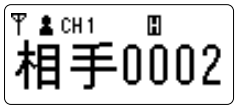


全局呼び出し

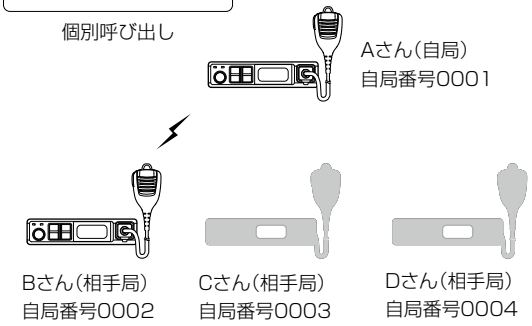


◎個別呼び出し

通話チャンネルとユーザーコードが同じで、呼び出す相手局(例:Bさん)の自局番号(例:0002)を指定して呼び出します。

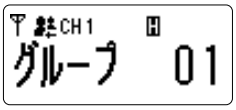


個別呼び出し

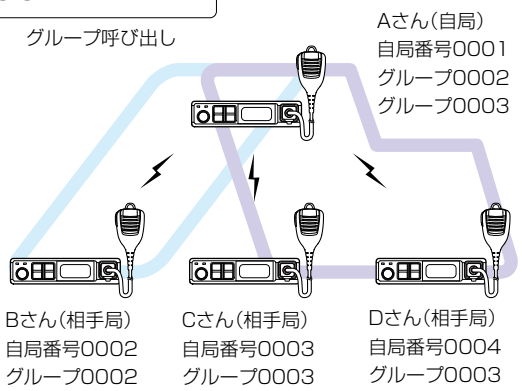


◎グループ呼び出し

通話チャンネルとユーザーコードが同じで、メンバー指定★されたグループ番号(例:グループ 0003)に所属するすべての相手(例:Cさん/Dさん)を呼び出します。



グループ呼び出し



★同じグループ番号で、そのグループ番号にメンバー指定を設定している相手側だけが、送信局からの音声を聞けます。

※相手側でもメンバー指定の設定が必要です。
相手側でメンバー指定されていないグループ番号に呼び出しをしても、着信しません。

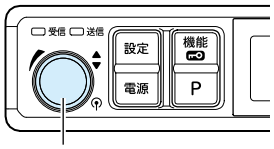
4　個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能を設定するには

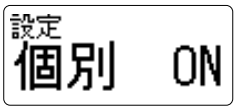
通話に使用するすべての無線機で設定が必要です。

1. 個別呼び出し機能をONにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[P]を押しながら、[電源]を押しつづけます。
2. 「設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
   • 設定項目が表示されます。
   ※設定モードを解除するまで通話できません。
3. [機能/🔑]、または[P]を繰り返し短く押して、「設定 個別」を選択します。
4. ツマミを回して、「ON」にします。



ツマミ



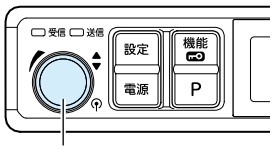
個別呼び出し「ON」

※個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。

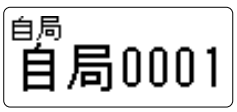
2. 自局番号を設定する

自局番号とは、自分が個別呼び出しを受けるための番号です。

1. [機能/🔑]、または[P]を繰り返し短く押して、「自局 自局」を選択します。(初期設定：0001)
2. ツマミを回して、自局番号を設定します。
   • 選択範囲：0001～9999



ツマミ



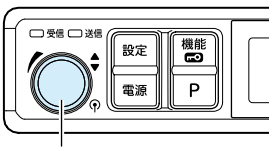
自局番号 0001設定時

【編集できる桁を変更するには】

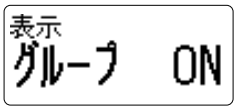
ツマミを長く(約1秒)押したあと、[機能/🔑]、または[P]を短く押して、編集する桁を選択します。
ツマミを回して、自局番号を選択します。
ツマミを長く(約1秒)押して、内容を確定します。

3. グループ番号表示をONにする

1. [機能/🔑]、または[P]を繰り返し短く押して、「表示 グループ」を選択します。(初期設定：OFF)
2. ツマミを回して、ONにします。



ツマミ

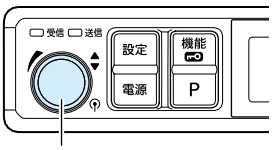


グループ番号表示「ON」

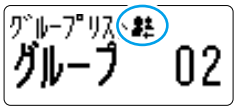
4. グループ呼び出しのメンバー指定

ここで指定したグループ番号の相手から呼び出しがあったとき、着信を許可します。

1. [機能/🔑]、または[P]を繰り返し短く押して、「グループリスト グループ」を選択します。(初期設定：01)
2. ツマミを回して、グループ番号を設定します。
   • 選択範囲：01～10
3. ツマミを長く(約1秒)押します。
   • メンバー指定を意味する「👥」が表示されます。
   ※複数のグループからの呼び出しを受けるときは、手順2と3の操作を繰り返します。



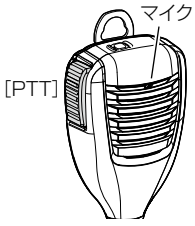
ツマミ



グループ02のメンバー指定を設定した状態

5. 変更した設定を確定する

変更した設定値を確定するために、[PTT]を押します。
設定モードが解除され、設定した自局番号の表示(約1秒)後、「📢」(全局呼び出し)が表示されます。
※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。





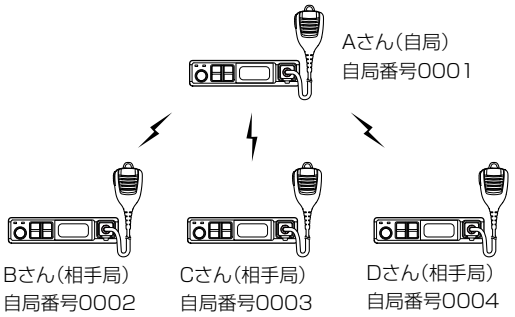
起動時「IC-DPR110」が表示されたあと「自局 0001」を表示

■ 個別呼び出し機能で通話するには

個別番号(相手の自局番号)やグループ番号を指定して相手局と通話する方法について、説明します。

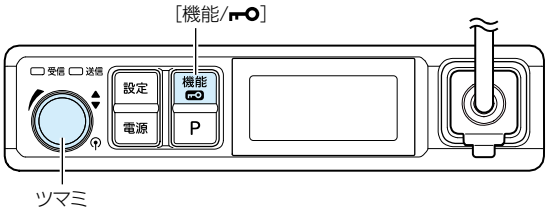
※個別呼び出し機能がすべての無線機に設定されているものとして説明します。(P.4-2)

【Aさんから呼び出す場合の使用例】
通話チャンネル番号と、呼び出す相手(全局/個別/グループ番号)を選択してから送信します。



1. 通話チャンネルを合わせる

1. ツマミを短く押します。
   • 表示(例：CH1)が点滅します。
2. ツマミを回して相手と同じ通話チャンネルに合わせます。
   • 選択範囲：01～14、16～82
3. [機能/🔑]を繰り返し押してユーザーコードを確認します。
   • 選択中のユーザーコードが表示されます。

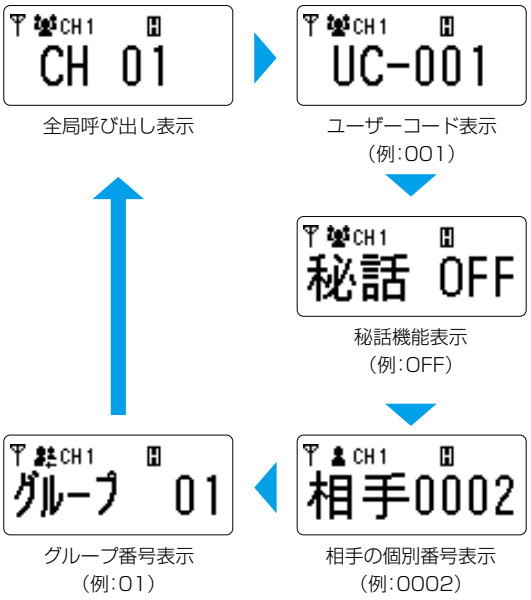


※選択した通話チャンネルで表示されるユーザーコードと異なる相手とは、通話できません。

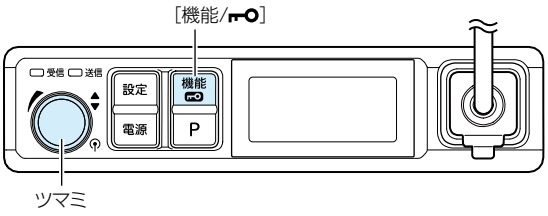
「👥」(全局呼び出し)表示で、[PTT]を押すと
通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82)、ユーザーコード、秘話機能の設定が同じすべての相手を呼び出しできます。
あらかじめ、自局番号を通話相手に知らせるときなどに使用できます。

2. 相手の個別番号/グループ番号の選択

1. [機能/🔑]を繰り返し押して「相手」、または「グループ」を選択します。



2. ツマミを回して個別番号(相手の自局番号)、またはグループ番号(01～10)に合わせます。



【編集できる桁を変更するには】(相手の個別番号)
ツマミを長く(約1秒)押したあと、[機能/🔑]、または[P]を短く押して、編集する桁を選択します。
ツマミを回して、相手の個別番号を選択します。
ツマミを長く(約1秒)押して、内容を確定します。

4　個別呼び出し機能による通話

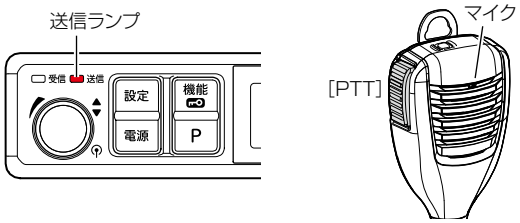
■ 個別呼び出し機能で通話するには

3. 呼び出しをする(送信する)

ご注意
受信ランプが緑色に点灯しているときは、ほかに通話している無線局(同じ通話チャンネルで、ユーザーコードや個別番号が異なる誰かが通話中)があります。
ほかの無線局が通話しているときは、送信しないでください。
※呼び出しをするときは、受信ランプが消灯していることを確認してから、送信してください。

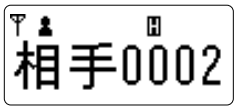
[PTT]を押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

- [PTT]を押しているあいだは、送信ランプが赤色に点灯します。

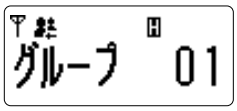




全局呼び出し



個別呼び出し

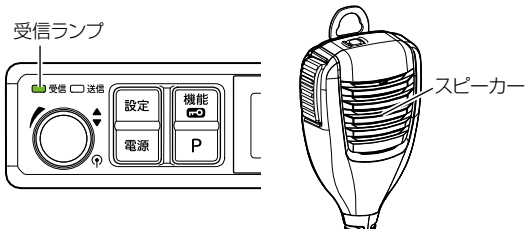


グループ呼び出し

個別呼び出し機能で送信中の表示例

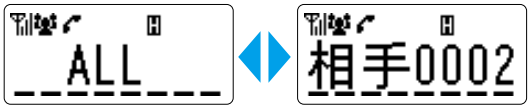
4. 呼び出しを受ける(受信する)

[PTT]をはなすと待ち受け状態になります。
電波を受信中は、受信ランプが緑色に点灯して、受信している電波状態が表示されます。
待ち受け状態のときは、受信ランプが消灯しています。



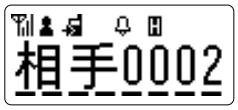
※ほかに通話している無線局(同じ通話チャンネルでユーザーコードが異なる誰かが通話中)の電波を受信しているときも、受信ランプが緑色に点灯し、電波状態が表示されます。

◎全局呼び出しを受けたとき
全局と個別番号が交互に点滅表示されます。



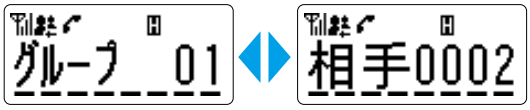
全局を点滅表示　個別番号(相手の番号)を点滅表示

◎個別呼び出しを受けたとき
呼び出しをした相手の個別番号(例:0002)が表示されます。



個別番号(相手の番号)を点滅表示

◎グループ呼び出しを受けたとき
呼び出しをした相手の個別番号(例:0002)と、自局に設定しているグループ番号(例:01)が表示されます。



グループ番号を点滅表示　個別番号(相手の番号)を点滅表示

【応答するときは】
受信ランプが消灯してから、[PTT]を押します。

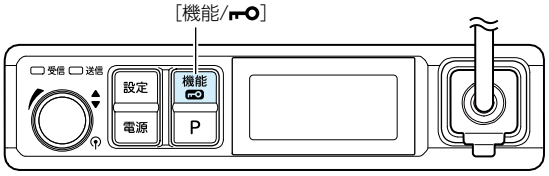
5 そのほかの機能について

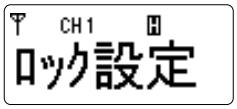
■ ロック機能

電源を入れなおしたり、不用意にキーやツマミに触れたりしても、設定や表示が変わらないようにします。

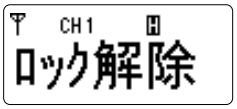
【操作のしかた】

「ピピッ」と鳴るまで、[機能/🔑]を長く押します。





ロック機能設定時の表示



ロック機能解除時の表示

※同じ操作をすると、解除できます。

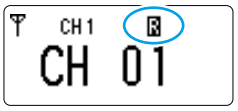
〈ロック中にできる操作〉

◎ロック機能の解除
◎送信/受信の切り替え
◎電源のON/OFF
◎モニター機能のON/OFF
◎音量調整
※エマージェンシー機能は、ロック中でも操作ができます。(P.5-10)

■ 受信専用機能

無線機の通話チャンネルを受信専用で使用できます。

※「R」表示された通話チャンネルでは、呼び出しや応答ができません。
※受信専用機能をご使用になるには、設定が必要です。
設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
※上空用チャンネル「CH S01～CH S15」設定時も受信専用のため、「R」が表示されます。



受信専用設定時の表示

■ モニター機能

モニター機能は、次のような場合に使用します。

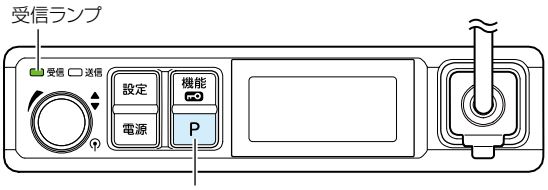
◎受信音がない状態で、「ザー」という音を聞きながら音量を調整するとき
◎ユーザーコード、個別番号、グループ番号が異なる他局の通話を聞くとき
※他局が秘話機能、または拡張秘話機能を使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえるだけです。

【操作のしかた】

[P]を押しているあいだ、動作します。

- 受信ランプが緑色に点灯します。

※[P]が、モニター機能以外の操作に割り当てられているときは、動作しません。



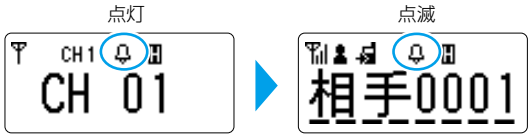
[P](プログラム)

■ ポケットビープ機能

ユーザーコードや個別呼び出し機能が設定されている場合、使用できる機能です。

呼び出しを受けたとき、「🔔」表示が点滅に変わります。
同時に、ビープ音、またはメロディーでお知らせします。

※ポケットビープ機能をご使用になるには、設定が必要です。
設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



ポケットビープ機能設定時の表示　　呼び出しを受けたとき

◎ユーザーコードと個別呼び出し機能を併用している場合も、個別呼び出しを受けると「🔔」表示が点滅に変わります。
◎呼び出しを受けたとき、ビープ音、またはメロディーを停止するときは、[電源]や無線機本体のツマミ以外を操作すると停止できます。
◎ポケットビープ機能が設定されていない状態で、個別呼び出しを受けたときは、ビープ音、またはメロディーは鳴らず、呼び出した相手の個別番号と、「🔔」表示の点滅だけになります。

■ 呼び出しメロディー機能

個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、ポケットビープ機能の呼び出し音をメロディー(9種類)に設定できます。

◎ 呼び出しを受けたとき、メロディーを停止するときは、[電源]や無線機本体のツマミ以外を操作すると停止できます。

※ 呼び出しメロディー機能をご使用になるには、設定が必要です。(P.8-5)

■ 着信表示

個別呼び出しを受けたとき、「」表示が点滅し、受信ランプが橙色に点滅します。

[設定]を押すと、点滅が停止します。

■ 拡声器機能

[P]に拡声器機能が割り当てられているとき、本製品を拡声器として使用できます。

※[P]の割り当ては、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※拡声器機能をお使いになるときは、必ず外部スピーカー(別売品:SP-30、SP-35、SP-35L、SP-35H)を無線機に接続してください。

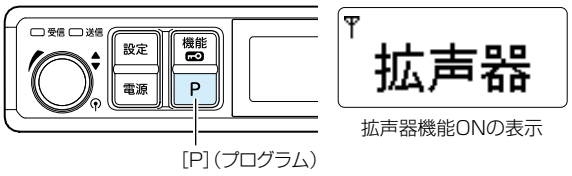
※拡声器機能がONの状態で、自局宛ての呼び出しを受信したときは、拡声器機能が解除され、通常の通話ができます。

外部スピーカーの設定は、呼び出しを受信したとき、相手の音声が無線機に接続されたマイクロホンから聞けるように、設定モードの「スピーカー出力」項目から、設定を「全て」、または「HM」に変更してください。(P.8-11)

【操作のしかた】

本書では、[P]を長く押したとき動作するように割り当てられているものとして説明します。

1. [P]を長く押します。
   • 「拡声器」が表示されます。



[P](プログラム)

拡声器機能ONの表示

※拡声器機能OFFのときは、受信音量を調整できます。拡声器機能ONのときは、拡声器音量を調整できます。

調整のしかたは、本製品の簡易取扱説明書をご覧ください。

2. [PTT]を押しながら、マイクに向かって話します。
   • 外部スピーカーから、音声が出力されます。
   ※音声は、送信されません。
3. 無線で呼び出したい場合は、[P]を長く押します。
   • 拡声器機能が解除されます。
   ※拡声器機能の使用中は、呼び出しができません。

■ 秘話/拡張秘話機能

秘話/拡張秘話機能を使用すると、ほかの相手に通話内容が傍受されるのを防止できます。

※秘話/拡張秘話機能をご使用になるには、設定が必要です。

◎秘話/拡張秘話機能が設定されているときは、「CH」表示（CH表示が反転）になります。



秘話/拡張秘話機能設定時の表示

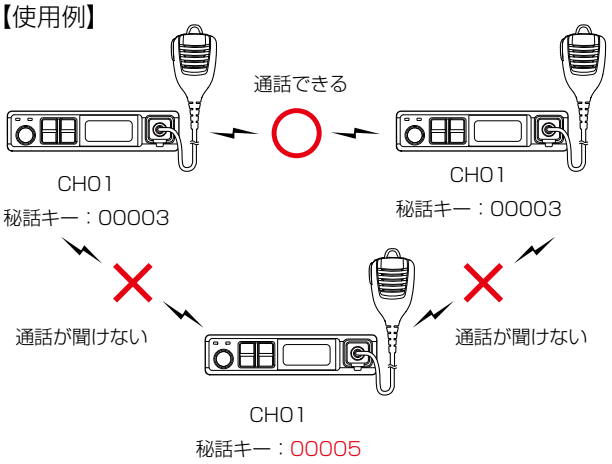
◎ユーザーコードや個別呼び出し機能による通話時も併用できます。

◎機密を要する重要な通話にご使用になることは、おすすめできません。
また、無線機間の通話は、電波を使用している関係上、第三者による盗聴を完全に阻止できませんので、ご注意ください。

【秘話機能ついて】

通話チャンネルと秘話キーが一致した相手と通話できます。

【使用例】



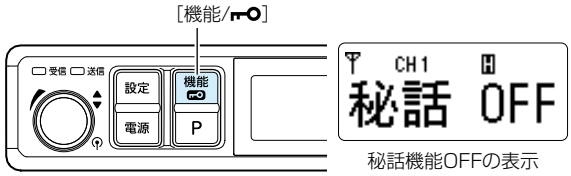
◎自分と同じ秘話キーの相手局、または秘話機能を使用しない他局が送信した信号を受信すれば、音声が聞こえます。

◎通話相手以外(同じ通話チャンネルで、異なる秘話キー使用して通話している)の電波を受信しているときも、受信ランプが緑色に点灯し、電波状態が表示されます。

◎他局が自分と異なる秘話キーを使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえます。

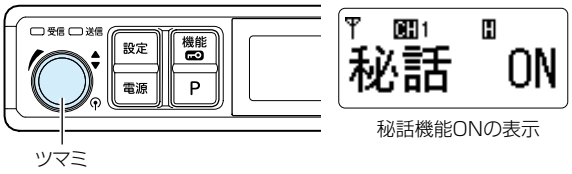
【秘話キーの変更】

1. ［機能/⊶］を押して「秘話」を選択します。



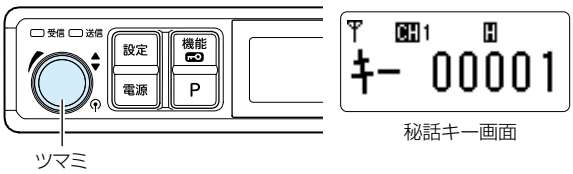
秘話機能OFFの表示

2. ツマミを回して「秘話 ON」を選択します。



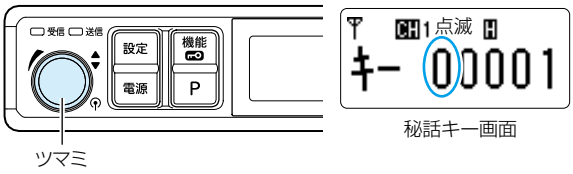
秘話機能ONの表示

3. 秘話機能が「ON」の状態で、ツマミを長く（約1秒）押します。
   • 秘話キー画面が表示されます。
   ※ツマミを回して、秘話キーを変更することもできます。



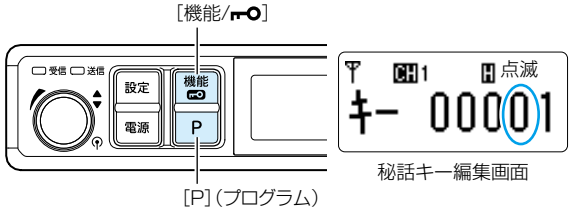
秘話キー画面

4. 秘話キー画面で、ツマミを長く（約1秒）押しします。
   • 秘話キー編集画面に切り替わります。
   • 選択している箇所が点滅します。



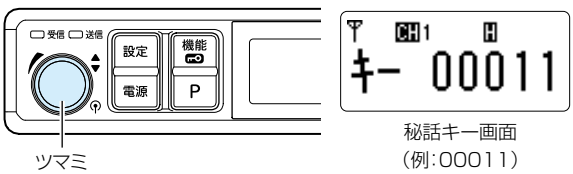
秘話キー画面

5. ［機能/⊶］、または［P］を押して変更したい桁に切り替えます。



秘話キー編集画面

6. ツマミを回して、数字を変更します。
   ※設定範囲は、「00001～32767」です。



秘話キー画面
（例:00011）

7. ツマミを長押しします。
   • 設定が完了し、秘話機能画面に戻ります。

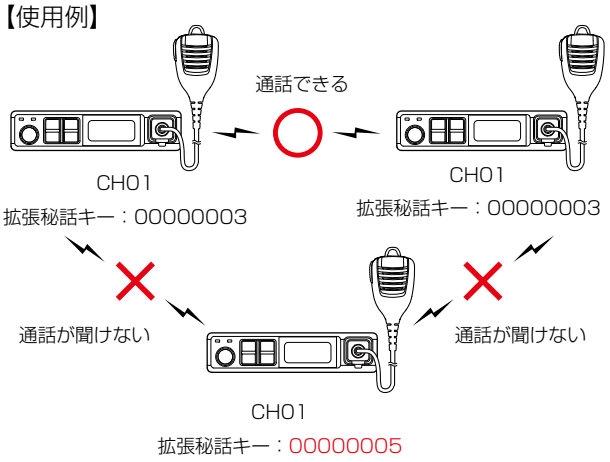
■ 秘話/拡張秘話機能

【拡張秘話機能ついて】

通常の秘話機能より秘密性を強化した秘話機能です。
通話チャンネルと拡張秘話キーが一致した相手と通話できます。

※拡張秘話機能は、通常の秘話や他社の機器との互換性はありません。

【使用例】



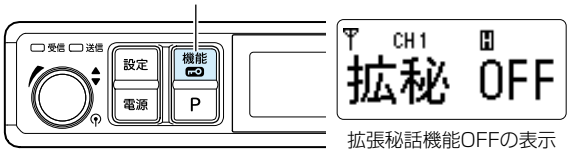
◎自分と同じ拡張秘話キーの相手局、または拡張秘話機能を使用しない他局が送信した信号を受信すれば、音声が聞こえます。

◎通話相手以外(同じ通話チャンネルで、異なる拡張秘話キー使用して通話している)の電波を受信しているときも、受信ランプが緑色に点灯し、電波状態が表示されます。

◎他局が自分と異なる拡張秘話キーを使用している場合は、秘話処理された電子音が聞こえます。

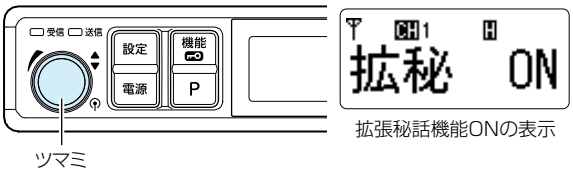
【拡張秘話キーの変更】

1. [機能/⊶]を押して「拡秘」を選択します。



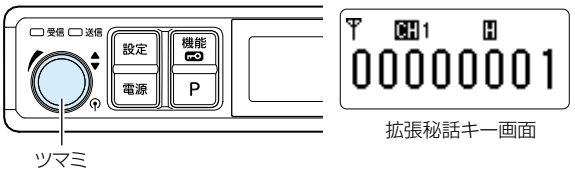
拡張秘話機能OFFの表示

2. ツマミを回して「秘話 ON」を選択します。



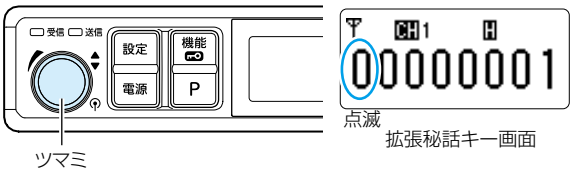
拡張秘話機能ONの表示

3. 拡張秘話機能が「ON」の状態で、ツマミを長押しします。
   • 拡張秘話キー画面が表示されます。
   ※ツマミを回して、拡張秘話キーを変更することもできます。



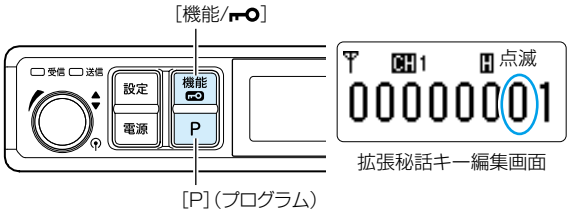
拡張秘話キー画面

4. 拡張秘話キー画面で、ツマミを長押しします。
   • 拡張秘話キー編集画面に切り替わります。
   • 選択している箇所が点滅します。



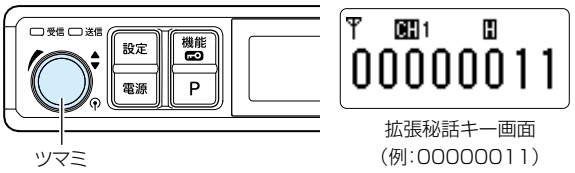
拡張秘話キー画面

5. [機能/⊶]、または[P]を押して変更したい桁に切り替えます。



拡張秘話キー編集画面

6. ツマミを回して、数字を変更します。
   ※設定範囲は、「00000001～16777215」です。



拡張秘話キー画面
(例:00000011)

7. ツマミを長押しします。
   • 設定が完了し、拡張秘話機能画面に戻ります。

■ 発着信履歴機能

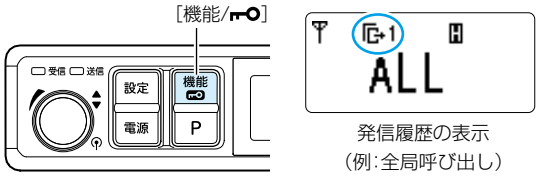
個別呼び出し、およびグループ呼び出しを送受信したとき、個別番号（相手の自局番号）やグループ番号、相手の位置情報が記憶されます。

記憶された個別番号は、呼び出しに利用できます。

※発着信履歴機能をご使用になるには、設定が必要です。
　設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

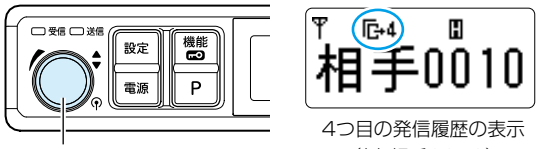
【発着信履歴を使用して、呼び出しをするには】

1. ［機能/🔑］を繰り返し短く押して、「📥」（着信履歴）表示、または「📤」（発信履歴）表示を選択します。
　※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。



発信履歴の表示
（例：全局呼び出し）

2. 発信履歴、または着信履歴が2件以上の場合は、ツマミを回して選択します。
　※1から順に最新の履歴として記憶されています。



ツマミ

4つ目の発信履歴の表示
（例：相手0010）

3. 呼び出す相手の履歴を選択した状態で、［PTT］を押しながら、相手に呼びかけます。
　• 送信ランプが赤色に点灯します。

【発着信履歴件数と履歴の消去について】

◎発信履歴、着信履歴を各10件まで記憶できます。
　10件を超えると、古い履歴から削除されます。
◎全局呼び出しの場合は、着信履歴を記憶しません。
◎発着信履歴の消去は、設定モードからできます。
　（P.8-8）

【発着信履歴の内容や件数に異常があるときは】

設定モードの「発着信履歴消去」項目から履歴を消去してください。（P.8-9）
それでも改善しない場合は、お買い上げの販売店にユーザーリセットをご依頼ください。

■ 発着信履歴機能

【発信履歴からGPS情報の送信時間を確認するには】

コマンドマイク(別売品:HM-253)とGPSユニット(別売品:UX-267)使用時、発信履歴から送信した日時を確認できます。

1. [履歴]を繰り返し短く押して、「発信履歴」を選択します。
   ※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。
   ※発信履歴が2件以上ある場合は、[▲]/[▼]を押して選択します。

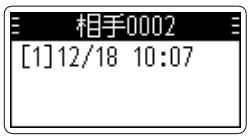




発信履歴表示を選択
(例:相手0002)

2. [決定]を押します。
   • GPS情報を送信した時刻が表示されます。
   ※GPS衛星からの信号を測位できない状態で送信したときは、時刻は履歴として表示できません。





送信時の日時

【着信履歴からGPS情報の受信履歴を確認するには】

コマンドマイク(別売品:HM-253)とGPSユニット(別売品:UX-267)使用時、着信履歴から受信した日時を確認できます。

1. [履歴]を繰り返し短く押して、「着信履歴」を選択します。
   ※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。
   ※着信履歴が2件以上ある場合は、[▲]/[▼]を押して選択します。

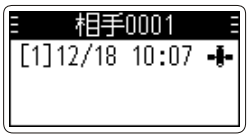




着信履歴表示を選択
(例:相手0001)

2. [決定]を押します。
   • GPS情報を受信した時刻が表示されます。
   ※ショートメッセージと併せて受信したときの履歴では、その内容も表示されます。

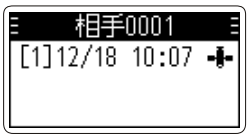




受信時の日時

3. GPS情報が表示されるまで、[▼]を繰り返し押します。







相手との距離と方位の
表示例



相手の緯度と経度の表示例

■ プライベートチャンネル機能

特定の通話チャンネルをプライベートチャンネル(例:呼出CH)に設定することで、よく利用する通話チャンネル(例:CH05)との切り替えが簡単になります。

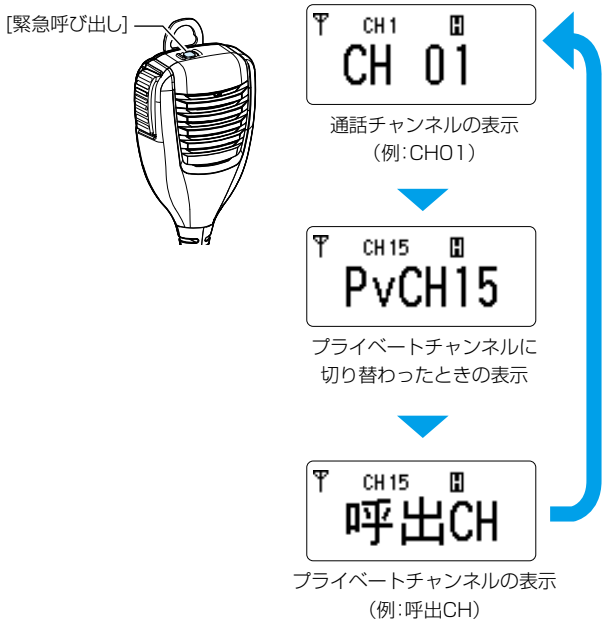
※工場出荷時や全設定初期化時、「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)がプライベートチャンネルに設定されています。
設定モードから設定を変更できます。(P.8-11)

※プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、「PvCH」とチャンネル番号が一度表示され、通話チャンネル表示に戻ります。

【操作のしかた】

[緊急呼び出し]を短く押します。

- 「PvCH」とプライベートチャンネル番号が表示され、プライベートチャンネルに切り替わります。
- 再度[緊急呼び出し]を押すと通話チャンネルに戻ります。



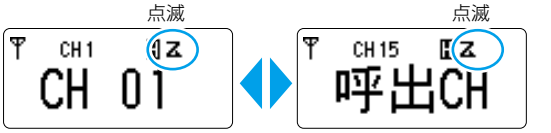
■ プライベートチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネル(例:CH01)を受信しながら、プライベートチャンネル番号(例:呼出CH)を一定の時間ごとに受信(監視)できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。
※下記の設定がされているときに使用できます。
◎[P]にスキャン機能(P.8-10)
◎スキャン機能にプライベートチャンネルスキャンの設定(P.8-10)
※本書では、[P]の長押し操作で動作するように割り当てられているものとして説明します。

【操作のしかた】

[P]を長く押します。
- 「Z」表示が点滅し、スキャンを開始します。
- 「呼出CH」(呼出用チャンネル：CH15)をプライベートチャンネルに設定したときは、下記のように切り替わります。



通話チャンネルの表示(例:CH01)　　プライベートチャンネルの表示(例:呼出CH)

【プライベートチャンネルスキャンを解除するには】

[P]を長く押します。
- プライベートチャンネルスキャンをする直前に選択されていた通話チャンネルが表示されます。

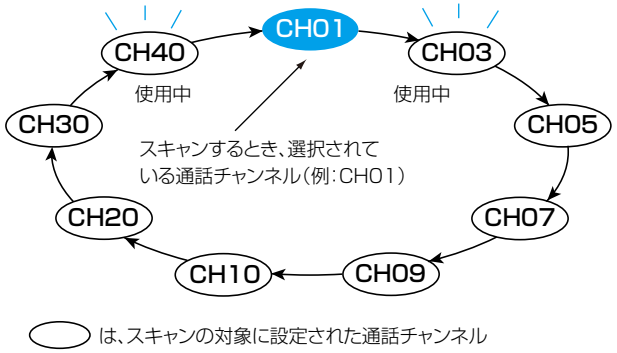
※電源を入れなおしても、スキャンは解除されません。
※コマンドマイク使用時は、[決定]を押しても解除します。

【プライベートチャンネルスキャンの動作について】

◎プライベートチャンネルスキャン中は「Z」が表示され点滅します。
◎プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。
◎スキャン中は、通話チャンネルで待ち受け中、2秒ごとにプライベートチャンネルをスキャンします。
スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。
◎電波を受信中は、設定モードのスキャン停止時間とスキャン再開時間の設定にしたがってスキャンします。(P.8-10)
このとき、緊急呼び出しをすると、スキャン動作が解除されます。
◎プライベートチャンネル(P.8-11)に上空用チャンネル(S01～S15)が設定されている場合は、上空用チャンネルをプライベートチャンネルスキャンの対象にできます。
◎スキャン中に呼び出す場合は、通話チャンネルで送信します。

■ メモリーチャンネルスキャン機能

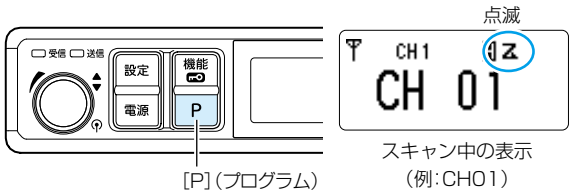
通話チャンネルを自動で切り替えて、使用中の通話チャンネルを探し出す機能です。



※スキャン対象外の通話チャンネル（例：CH01）が選択されている状態でスキャンを開始させたときは、その通話チャンネルも含めてスキャンします。
※下記の設定がされているときに使用できます。
◎[P]にスキャン機能（P.8-10）
◎スキャン機能にメモリーチャンネルスキャンの設定（P.8-10）
◎スキャンチャンネル（P.8-10）
※本書では、[P]の長押し操作で動作するように割り当てられているものとして説明します。

【操作のしかた】

[P]を長く押します。
・「Z」表示が点滅し、スキャンを開始します。



【メモリーチャンネルスキャンを解除するには】

[P]を長く押します。
・スキャンをする直前に選択されていた通話チャンネルが表示されます。
※電源を入れなおしても、スキャンは解除されません。
※コマンドマイク使用時は、[決定]を押しても解除します。

【メモリーチャンネルスキャンの動作について】

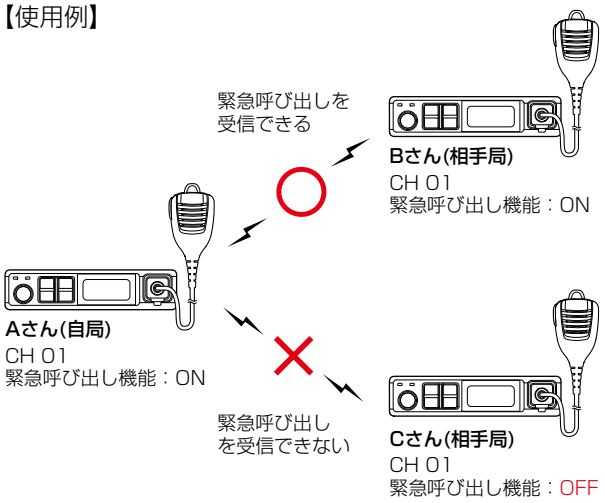
◎スキャンの対象に設定された通話チャンネルが1件だけで、その通話チャンネルと同じ番号を選択しているときは、スキャンしません。
◎スキャン中に緊急呼び出しなどで送信をすると、スキャン動作を解除して、スキャンをする直前に選択されていた通話チャンネルで呼び出しをします。
◎スキャン中は、個別呼び出しや緊急呼び出しを正しく受信できないことがあります。
◎受信状態が10秒つづいたら、スキャンを再開します。
10秒経過するまでに信号がなくなり、その状態が5秒つづいたら、スキャンを再開します。
スキャン停止時間と再開時間の設定について（P.8-10）

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

迅速な連絡が必要な場合、自分と同じ通話チャンネルで緊急呼び出し機能が設定された相手に、緊急表示と警告音で通知できます。

※緊急呼び出し機能をご使用になるには、設定が必要です。(P.8-9)

【使用例】



⚠警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。

適切な音量になっていることを確認してください。

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

緊急呼び出し機能は、送信側と受信側の無線機に設定されているときに使用できる機能です。

送信側と受信側の両方に設定されていないときは、緊急呼び出しの送信や受信、応答ができません。

※緊急呼び出しをする無線機には、下記どちらかのマイクロホンを接続する必要があります。

◎コマンドマイク(別売品:HM-253)

◎防水スピーカーマイクロホン(別売品:HM-254)

※個別呼び出し機能が設定されていない無線機から、個別呼び出し機能が設定されている無線機へ緊急呼び出しはできません。

緊急呼び出し機能を使用するときは、送信側と受信側の両方に個別呼び出し機能を設定してください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しが通知されなかったり、通知されても警告音が鳴らなかったりすることがあります。

◎音量が最小に設定されている場合

◎警告音を鳴らさない設定がされている場合

◎電波状況の悪化により電波が届かない場合

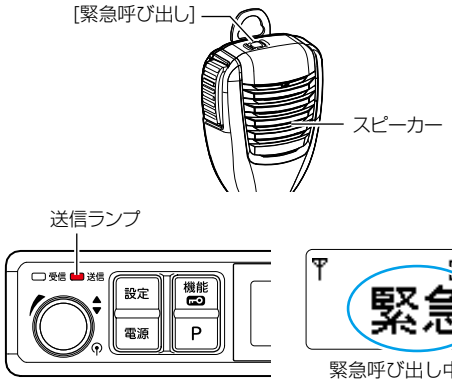
◎メモリーチャンネルスキャン機能が動作中の場合

【緊急呼び出しのしかた】

下記の操作をすると、個別呼び出し機能が設定された自分と同じ通話チャンネルの相手へ一斉に緊急呼び出しします。

※緊急呼び出しに使用する通話チャンネルが、あらかじめ指定されていない場合は、緊急呼び出しの前に、緊急呼び出しをする相手と同じ通話チャンネル番号を選択してください。

1. 「緊急」と表示されるまで、マイクロホンの[緊急呼び出し]を長く(5秒以上)押します。
   - 「緊急」表示の点滅と同時に、警告音が「ピピピ･･･」と鳴って、一定の間隔ごとに送信ランプが赤色に点灯します。



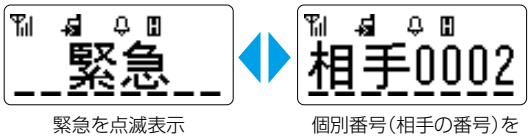
緊急呼び出し中の表示

2. その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
   - 応答があると、「緊急」表示が消え、受信ランプが緑色に点灯します。

   ※応答がない場合は、電源を切ると緊急呼び出しが停止します。
3. 通話をつづけます。
   - 何も操作しない状態が5秒つづくと、終話して、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。

【緊急呼び出しを受けたときは】

1. 警告音が「ピピピ･･･」と鳴って、送信ランプが赤色に点滅します。
   - 「緊急」と「相手局番号」が交互に表示されます。



緊急を点滅表示　　個別番号(相手の番号)を点滅表示

2. [PTT]を押して、応答します。
   - 応答すると、「相手局番号」表示に変わり、警告音が停止します。

   ※応答しない場合は、電源を切ると緊急呼び出しが停止します。
3. 通話をつづけます。
   - 何も操作しない状態が5秒つづくと、終話して、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。

■ 録音/再生機能

コマンドマイク(別売品:HM-253)使用時の機能です。
送信したときの通話、および自局宛ての通話を自動録音、および再生できます。
※最大5分間録音できます。
※録音された最新の内容は、録音履歴を消去するまで、保持されます。

1. 呼び出しを受ける(録音開始)

自局宛ての通話を受信すると、自動で録音を開始します。
- コマンドマイクの送・受ランプが緑色に点灯すると同時に、「●」(録音中)表示が点滅します。

※自局から呼び出しをした場合でも、呼び出しを受けたときと同様に「●」表示が点滅して、自動で録音を開始します。





自局宛ての呼び出しを受信したときの表示例

2. 応答する(録音継続)

1. 送・受ランプが消灯し、待ち受け状態を確認します。
   - 「●」(録音中)表示は、点滅をつづけます。
2. [PTT]を押しながら、マイクに向かって、通話相手に応答します。
   - 送・受ランプが赤色に点灯し、「●」(録音中)表示は、点滅をつづけます。



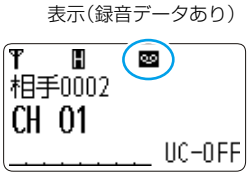


自局宛ての呼び出しを受信したときの表示例

3. 終話する(録音終了)

通話が終わったら、[PTT]をはなします。
- 送・受ランプが消灯します。
  その後、何も操作しない状態が5秒つづくと、「●」表示が消灯し、「📼」(録音データあり)が表示されます。





終話後の表示例

【録音/再生機能の動作について】

◎送信したときの通話、および自局宛ての通話を受信すると自動で録音を開始します。
※個別呼び出し機能を使用時、他局間の通話や呼び出しの音声は出力されますが、録音されません。

◎ユーザーコードや個別番号が一致しない場合など、音声が出力されない通信は、録音されません。
そのとき、再生中の場合は、再生をつづけます。

◎終話するまでの通話を1件として録音します。
録音を一時停止すると、送信中や受信中に再開しても、別の1件として録音されます。

◎録音時間の合計が5分を超えた場合には、その時点で1番古い録音内容を消去しながら録音されます。
録音件数は、録音時間の合計が5分以内であれば、最大30件です。

◎再生中に自局宛ての呼び出しを受信した場合は、再生が停止されると同時に受信音声が出力され、録音を開始します。

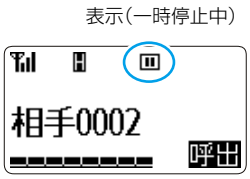
◎緊急呼び出しを送信、または受信したとき、警告音が「ピピピ･･･」と鳴っているあいだは、「●」(録音中)表示が点滅しますが、録音はされません。
応答があると、録音を開始します。

■ 録音/再生機能

【録音を一時停止するには】

待ち受け中や送信中、または受信中でも、[録再]を短く押すごとに、録音一時停止と再開が切り替わります。

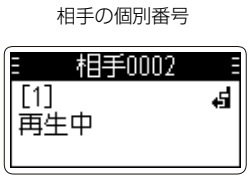




【直前に録音された内容を再生するには】

1. 通話チャンネル画面で、[録再]を長く押します。
   • 再生が開始されます。





2. 再生する前の表示に戻すときは、[戻る]を押します。

【録音履歴から再生するには】

1. [履歴]を繰り返し短く押して、「録音履歴」を選択します。
   ※設定によっては、「着信履歴」→「発信履歴」→「録音履歴」の順に切り替わります。
   ※設定されていない場合や履歴がない場合は、選択できません。





2. 録音履歴が2件以上の場合は、[▲]/[▼]を押して選択します。
   ※上から順に最新の履歴として記憶されています。





3. [決定]を押します。
   • 再生が開始されます。

4. 再生する前の表示に戻すときは、[戻る]を押します。

【録音時のアイコンについて】


:自局宛ての着信に応答して、終話するまでの通話


:自局宛ての着信に応答せず終話した場合


:自局から呼び出しをして、終話するまでの通話

■ GPS機能

自局の位置情報(緯度/経度)を表示したり、相手局に自局の位置情報を送信したりできる機能です。
相手局の位置情報を受信したときは、相手局の方向と距離を表示できます。

※GPS機能をご使用になるには、送信側と受信側の無線機に設定が必要です。
設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

※GPSユニット(別売品：UX-267)を無線機に接続すると、移動場所に応じた自局位置情報の表示や送信、時刻表示などができます。
また、お買い上げの販売店で自局位置情報が設定されている場合は、GPSユニットを接続しなくても位置情報の表示や送信はできます。

※無線機本体の「」(GPS)表示が点滅から点灯に変わると、受信(測位)完了です。
点滅している状態では、位置情報の表示や送信、発着信履歴使用時の時刻表示ができません。

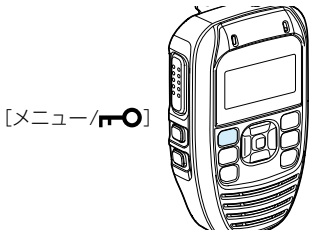
※本製品が設置されている場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号を測位できない場合があります。

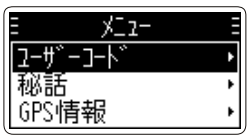
※位置管理システムなどのマッピングには対応していません。

※本書では、コマンドマイク使用時の操作を説明します。

【自局の位置情報を確認するには】

1. 無線機本体の「」(GPS)表示が点灯(測位が完了)していることを確認します。
2. [メニュー/]を短く押します。
   • 「メニュー」画面が表示されます。

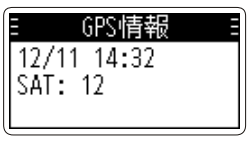




メニュー画面

3. [▲]/[▼]を押して、GPS情報を選択します。
4. [決定]を押します。
   • 測位日時と追尾衛星数(表示例 SAT:12)が表示されます。



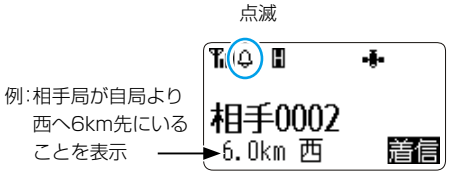


GPS情報画面

5. [▼]を押すと、緯度と経度が表示されます。
6. 待ち受けの表示に戻すときは、[戻る]を2回押します。

【相手局から位置情報を受信したときの表示】

GPS機能が設定されているとき、相手局の位置情報を受信すると、相手局の距離と方位が表示されます。



個別呼び出し受信中の表示

※発着信履歴機能が設定されているときは、着信履歴から、相手局の位置情報を確認できます。(P.5-6)

【自局の位置情報を送信するには】

無線機本体の「」(GPS)表示が点灯している状態で、[PTT]を押しながら、マイクに向かって、通話相手に呼びかけます。

• [PTT]を押しているあいだは、コマンドマイクの送・受ランプが赤色に点灯します。
同時に、自局情報が通話相手に送信されます。

送信時のご注意

[PTT]を押すと、位置情報の送出後に音声が送信されます。

※送信モニタービープ機能(P.8-5)が設定されている場合、「ピッ」と送信モニターが鳴ってから、呼びかけてください。

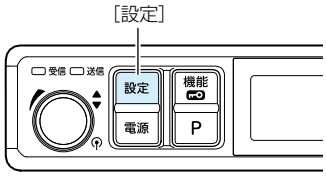
■ 送信出力の切り替え機能

無線機の送信出力を切り替える機能です。

【操作のしかた】

[設定]を長く(約1秒)押します。

※長く押すごとに、ハイパワー(5W)とローパワー(1W)が切り替わります。





ハイパワー切り替え時の表示



ローパワー切り替え時の表示

6 Bluetooth機能

◎本製品のBluetooth機能を有効にすると、Bluetooth対応機器と接続できます。
※この機能を使用する場合は、設定モードでの設定が必要です。
◎Bluetoothの通信範囲は、約10m(目安)です。
◎本製品は、最大8台(ヘッドセット7台、データ端末1台)のBluetooth機器を登録できますが、本製品とBluetooth機器を1対1の組み合わせで設定されることをおすすめします。

Bluetoothの通信においては、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけ、障害物がない状態にしてください。
電子レンジや無線LAN、ほかのBluetooth機器による電波干渉がある場合は、それらの位置を変更するか、必要に応じて一時的に使用を中止してください。

■ Bluetooth部の仕様

◎適応規格　　:Bluetooth Ver. 5.3準拠
◎送信出力　　:Class1
◎対応プロファイル :HFP (Ver.1.8)、HSP (Ver.1.2)、SPP (Ver.1.2)

■ ペアリング/接続のしかた

ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。
一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。
本体側の電源をONにするとBluetooth機器と接続され、OFFにすると切断されます。

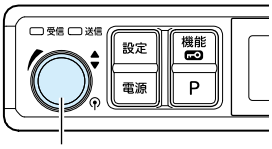
ご注意
◎本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
また、Bluetooth標準規格に適合していても、機器の仕様や設定により、本製品と接続できないことがあり、すべての動作を保証するものではありません。
◎複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検出されないことがあります。このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。
◎電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、無線機本体と接続されたマイクロホンのスピーカーから音が出るように切り替わります。無線機本体側の音量の上げすぎにご注意ください。

1. ペアリングモードにする

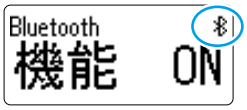
ペアリングモードの操作のしかたは、お使いのヘッドセットの取扱説明書でご確認ください。

2. Bluetooth機能をONにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[P]を押しながら、[電源]を押しつづけます。
2. 「設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
   • 設定項目が表示されます。
   ※設定モードを解除するまで通話できません。
3. [機能/]、または[P]を繰り返し短く押して、「Bluetooth機能」を選択します。
4. ツマミを回して、「ON」にします。
   •「 」(Bluetooth機能ON)が表示されます。



ツマミ



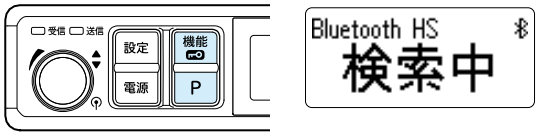
Bluetooth機能「ON」

5. 設定モードのまま、次の手順「3.本製品からBluetooth機器をペアリングする」を操作します。

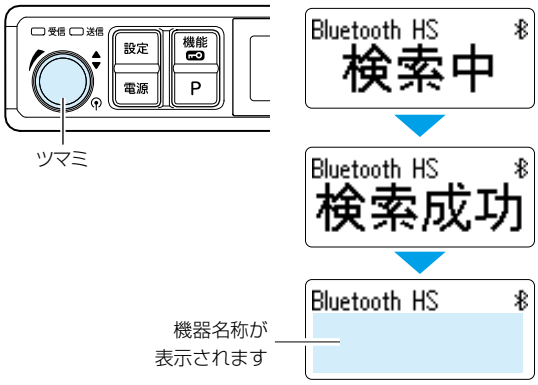
■ ペアリング/接続のしかた

3.本製品からBluetooth機器をペアリングする

1. [機能/🔗]、または[P]を押して、
「Bluetooth HS 検索なし」を選択します。

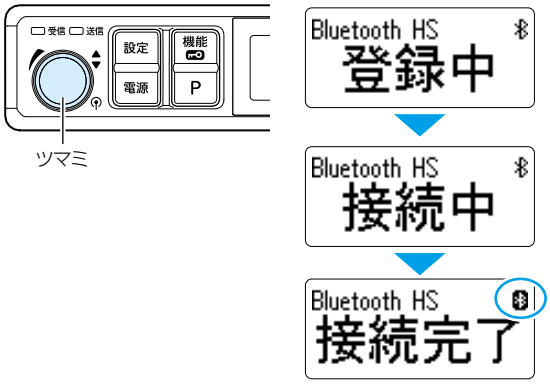


2. ツマミを短く押します。
   - 「検索中」が表示されます。
   - 「検索成功」が表示され、約1秒後に検索結果が表示されます。



※「検索失敗」が表示された場合は、Bluetooth機器がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、検索してください。
※再度検索したい場合は、ツマミを回して、「再検索」を選択し、ツマミを押してもう一度、検索してください。

3. ツマミを短く押し、接続する機器を選択します。
   - 「登録中」、「接続中」、「接続完了」の順に表示されます。
   - 「ᛒ」(Bluetooth機能 接続中)が表示されます。



※「ペアリング失敗」が表示された場合は、Bluetooth機器がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、手順3のツマミを回して接続機器の選択から操作してください。

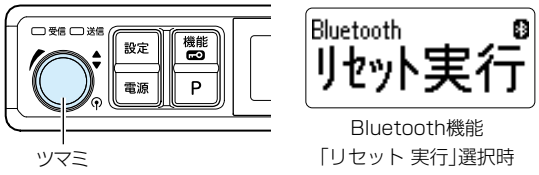
4. [PTT]を押します。
   - 設定モードが解除され、チャンネル表示に戻ります。

【ペアリング後の動作について】
一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。
下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。
◎無線機のBluetooth機能が「ON」
◎無線機が待ち受け状態
◎Bluetooth機器の電源が「ON」
※接続中は「ᛒ」が点滅します。
接続が完了すると「ᛒ」が点灯します。

■ Bluetoothの初期化

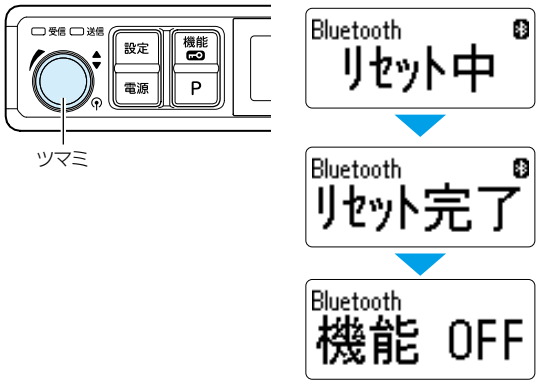
正しく動作しないと思われた場合は、下記の手順で本製品のBluetoothの初期化をしてください。

1. 本製品の電源を切った状態で、[P]を押しながら、[電源]を押しつづけます。
2. 「設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
   - 設定項目が表示されます。
   ※設定モードを解除するまで通話できません。
3. [機能/🔗]、または[P]を押して、「Bluetooth リセット」を選択します。
4. ツマミを回して、「リセット 実行」を選択します。



Bluetooth機能
「リセット 実行」選択時

5. ツマミを押します。
   - 「リセット中」、「リセット完了」が表示され、初期化が実行されます。
   - 「Bluetooth 機能 OFF」表示に戻ると初期化完了です。



※ツマミを押さずに電源を切った場合は、Bluetooth機器の情報は初期化されません。

■ Bluetoothの設定一覧

設定モードでBluetooth機能をONにすると、関連する設定項目が表示されます。

【無線機の表示一覧】

設定項目	初期設定	参照
Bluetooth 機能	OFF	P.8-13
Bluetooth HS 検索	なし	P.6-4
Bluetooth DT 検索	なし	P.6-4
Bluetooth 機器一覧	なし	P.6-4
Bluetooth 機器解除	なし	P.6-4
Bluetooth ボリューム連動	連動	P.6-4
Bluetooth 音量ボリューム	32	P.6-4
Bluetooth パワーセーブ	OFF	P.6-4
Bluetooth ワンタッチPTT	OFF	P.6-4
Bluetooth PTT&マイク切り替え	HS+本体	P.6-5
Bluetooth AF出力切り替え	HS	P.6-5
Bluetooth マイクレベルオフセット	0	P.6-5
Bluetooth AFレベルオフセット	+8	P.6-5
Bluetooth データ通信	OFF	P.6-5
Bluetooth 初期化	― ― ―	P.6-5

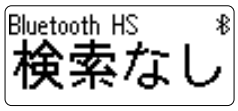
【コマンドマイクの表示一覧】

設定項目	初期設定	参照
Bluetooth 機能	OFF	P.8-13
検索 ヘッドセット	―	P.6-4
検索 データ端末	―	P.6-4
ペアリングリスト	―	P.6-4
登録解除	―	P.6-4
Bluetooth音量	連動	P.6-4
固定音量	32	P.6-4
パワーセーブ	OFF	P.6-4
ワンタッチPTT	OFF	P.6-4
Bluetoothマイク	Bluetooth+本体	P.6-5
Bluetoothスピーカー	Bluetoothのみ	P.6-5
マイクレベルオフセット	0	P.6-5
スピーカーレベルオフセット	+8	P.6-5
データ通信	OFF	P.6-5
Bluetooth初期化	実行しない	P.6-5

■ Bluetoothの設定項目について

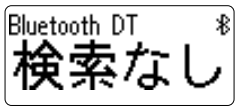
無線機で表示される設定項目と画面で説明します。
※コマンドマイク接続時では、置き換えてお読みください。

Bluetooth HS 検索 （初期設定：なし）



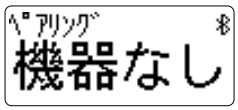
Bluetooth機能対応のヘッドセットを検索し、ペアリングします。
※周囲にBluetooth機能対応ヘッドセットがないときは、「検索なし」が表示されます。
- なし：ツマミを短く押すと、検索を開始する

Bluetooth DT 検索 （初期設定：なし）



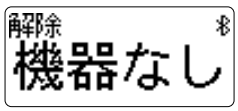
Bluetooth機能対応のデータ端末を検索し、ペアリングします。
※周囲にBluetooth機能対応データ端末がないときは、「検索なし」が表示されます。
- なし：ツマミを押すと、検索を開始する

Bluetooth 機器一覧 （初期設定：なし）



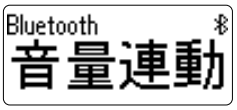
ペアリング済み機器一覧が表示されます。
表示されている機器を接続するには、ツマミを長押しします。
※過去にペアリングされた機器がないときは、「機器なし」が表示されます。

Bluetooth 機器解除 （初期設定：なし）



Bluetooth機器をペアリング済み機器一覧から削除します。
表示されている機器を削除するには、ツマミを長く（約1秒）押します。
※削除できる機器がないときは、「機器なし」が表示されます。

Bluetooth ボリューム連動 （初期設定：連動）



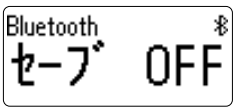
接続しているBluetooth機器の音量を、本製品と連動させるか固定させるかを設定します。
- 連動：無線機本体の音量と連動する
- 固定：「Bluetooth 音声ボリューム」で設定された音量に固定する

Bluetooth 音声ボリューム （初期設定：32）



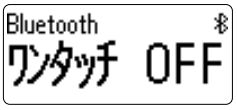
「Bluetooth ボリューム連動」を「固定」に設定したときの音量を設定します。
- 選択範囲：1～32

Bluetooth パワーセーブ （初期設定：OFF）



接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。
- OFF：使用しない
- ON ：使用する

Bluetooth ワンタッチPTT （初期設定：OFF）

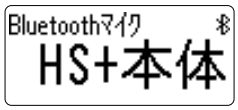


弊社製Bluetoothヘッドセットの[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。
※「ON」に設定したときは、[PTT]を押しつづける必要がなくなります。
- OFF：使用しない
- ON ：使用する

■ Bluetoothの設定項目について

Bluetooth PTT&マイク切り替え

（初期設定：HS+本体）



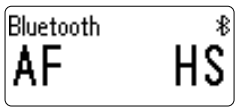
Bluetooth接続時、無線機や別売品の外部機器のPTT操作とマイクを制限するときに設定します。

※初期設定の「HS+本体」では、Bluetoothヘッドセット、および別売品のPTT操作とマイクが有効になっています。

- HS　：BluetoothヘッドセットのPTT操作とマイクだけを有効にする
- HS+本体：Bluetoothヘッドセット、および別売品のヘッドセットのPTT操作とマイクを有効にする
  ※別売品のヘッドセットを接続しない場合、マイクロホンのPTT操作とマイクが有効になります。
- 強制HS　：Bluetoothヘッドセット、別売品のヘッドセットのPTT操作を有効にし、マイクはBluetoothヘッドセットのマイクだけを有効にする
  ※別売品のヘッドセットを接続しない場合、無線機のPTT操作が有効になります。
  ※別売品のヘッドセットによっては、ヘッドセットのPTT操作でなく、マイクロホンのPTT操作が有効になることがあります。

Bluetooth AF出力切り替え

（初期設定：HS）



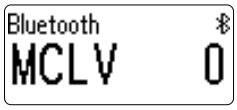
Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のスピーカーを制限するときに設定します。

※初期設定の「HS」では、Bluetooth機器のイヤホンだけを使用するようになっています。

- HS　：Bluetoothヘッドセットのイヤホンだけを使用する
- BOTH：Bluetoothヘッドセットのイヤホン、および別売品の外部機器のスピーカーを有効にする
  ※Bluetoothヘッドセットを接続しない場合、無線機に接続した外部機器のスピーカーが有効になります。
  ※Bluetoothヘッドセットによっては、ヘッドセットのスピーカーからでなく、無線機に接続した外部機器のスピーカーから音声が出ることがあります。

Bluetooth マイクレベルオフセット

（初期設定：0）

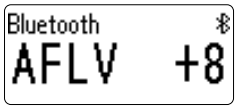


Bluetoothマイクロホンの感度を設定します。

- 選択範囲：－13～+15

Bluetooth AFレベルオフセット

（初期設定：+8）

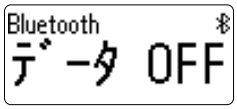


無線機に接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに調整するBluetooth機器の音量設定です。

- 選択範囲：0～+12

Bluetooth データ通信

（初期設定：OFF）

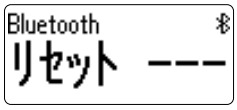


Bluetooth接続によるデータ通信を使用するかどうかを設定します。

- OFF：使用しない
- ON　：使用する

Bluetooth 初期化

（初期設定：ーーー）



Bluetoothの全設定を初期化します。

※「実行」を選択後、ツマミを押さずに、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「ーーー」に切り替わります。

- ーーー：初期化しない
- 実行　：ツマミを押すと、初期化する

7 サブチャンネルPTT機能

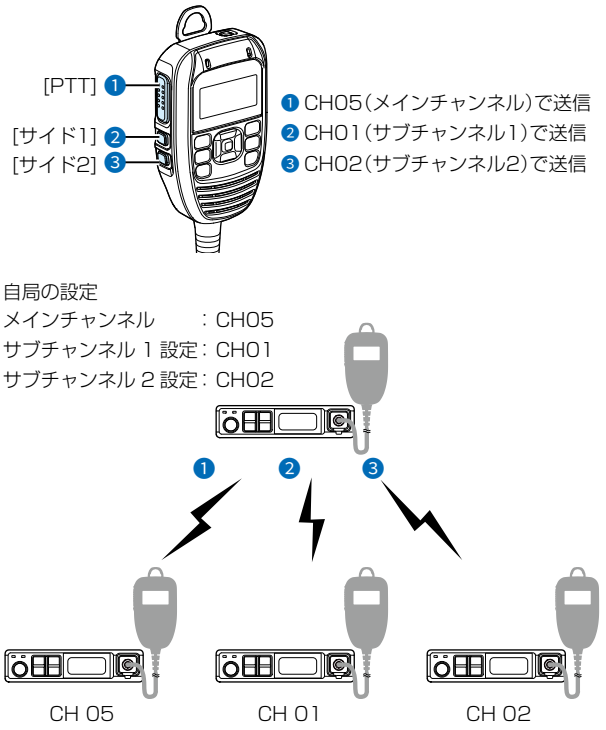
■ サブチャンネルPTT機能とは

別売品のコマンドマイク(HM-253)使用時の機能です。
コマンドマイクの[サイド1]/[サイド2]にサブチャンネルを割り当てることで、チャンネル切り替え操作をしないで最大3CH間で送受信ができます。(初期設定:OFF)
必要に応じて、設定モードでサブチャンネルPTT機能を設定してください。
※送信できるキーが最大3つになります。

【サブチャンネルPTT機能と併用できない機能について】
下記の併用できない機能が設定されている場合、サブチャンネルPTT機能が使用できません。
◎着信表示(P.5-2、P.8-5)
◎ポケットビープ(P.8-5)
◎着信履歴表示(P.5-5、P.8-8)
◎発信履歴表示(P.5-5、P.8-8)
◎D-sub 15pin★
◎D-sub 9pin★
◎GPS機能★(P.5-13、P.8-12)
◎VOX機能(P.8-7)
◎録音再生機能(P.5-11、P.8-17)

★詳細は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

【使用例】



■ サブチャンネルを設定する

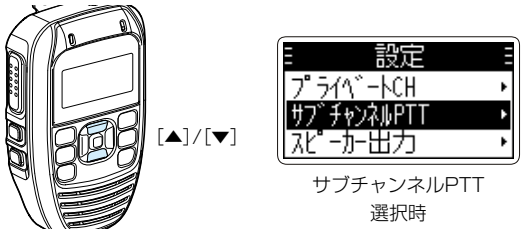
コマンドマイクの[サイド1]、[サイド2]にあらかじめ設定されているものとして説明します。

1. 設定モードにする

1. 本製品の電源を切った状態で、本製品の[P]を押しながら、[電源]を押しつづけます。
2. 「設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
   • 設定項目が表示されます。
   ※設定モードを解除するまで通話できません。

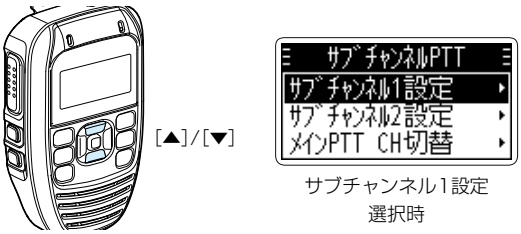
2. 送信チャンネルを割り当てる

1. コマンドマイクの[▲]/[▼]を押して、「サブチャンネルPTT」を選択します。



サブチャンネルPTT
選択時

2. コマンドマイクの[▲]/[▼]を押して、「サブチャンネル1設定」、「サブチャンネル2設定」を選択します。



サブチャンネル1設定
選択時

3. [決定]を押します。
   • チャンネル一覧が表示されます。

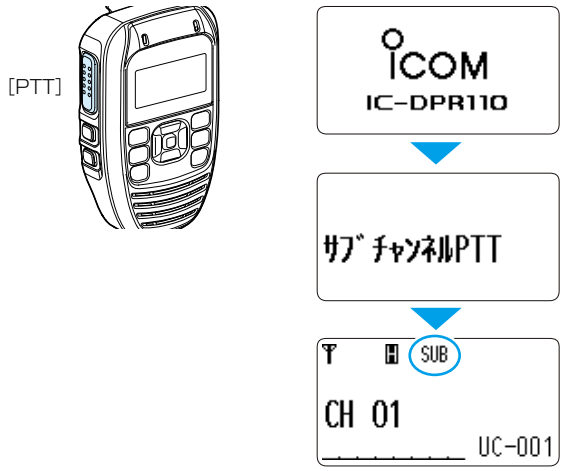
4. [▲]/[▼]を押して、割り当てるチャンネルを選択し[決定]を押します。
   • 設定範囲:CH 01～CH 14、呼出CH、
   CH 16～CH 82、CH S01～CH S15★
   ※上空用チャンネルでは送信できません。
   出荷時、上空用チャンネルの使用は、「OFF」(P.8-12)に設定されています。
   ※サブチャンネルを変更したい場合は、同様の手順で残りのサブチャンネルも変更します。

■ サブチャンネルを設定する

3. 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 無線機が再起動後、「SUB」が表示され、サブチャンネルPTT機能が使用できるようになります。



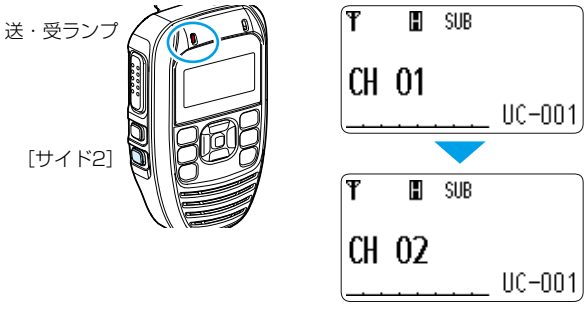
※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。

※設定モードを解除するまで通話できません。

■ サブチャンネルで送信する

[サイド1]、または[サイド2]を押しつづけると、割り当てられたメモリーチャンネルで送信します。

※通話のしかたについては、4-3ページをご覧ください。



[サイド2](CH02)を押して送信中の表示

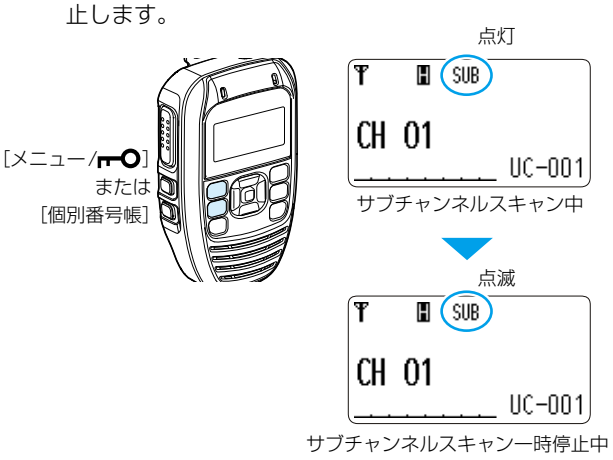
【表示中のメモリーチャンネルを変更するには】

「SUB」が点灯しているあいだ、無線機は常にサブチャンネルをスキャンしています。

サブチャンネルのスキャン中(「SUB」点灯)は、表示中のメモリーチャンネルを変更できません。

メモリーチャンネルを変更する場合は、次の手順でサブチャンネルのスキャンを一時停止させて変更してください。

1. [メニュー/⊶]、または[個別番号帳]を短く押します。
   - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスキャンが一時停止します。



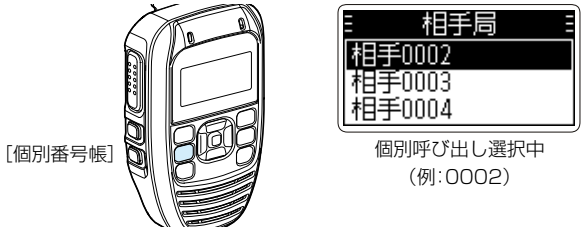
2. [▼]/[▲]を押して、相手と同じメモリーチャンネルに合わせます。

■ サブチャンネルで個別呼び出しをする

個別呼び出し機能が設定されている場合、サブチャンネルで個別呼び出しができます。

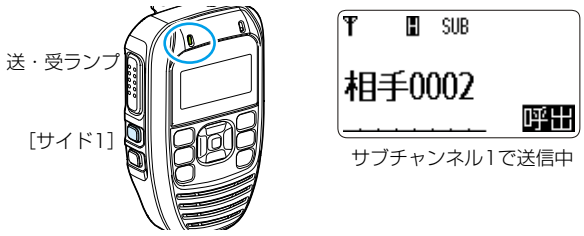
※通話のしかたについては、4-3ページをご覧ください。

1. [メニュー/⊶]、または[個別番号帳]を短く押します。
   - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスキャンが一時停止します。
2. 「SUB」が点滅しているあいだに、[個別番号帳]を繰り返し押して、呼び出す相手を選択します。



個別呼び出し選択中
(例:0002)

3. [▼]/[▲]を押して、相手の個別番号、またはグループ番号を選択し、[決定]を押します。
4. 他局が通信していないこと(送・受ランプ:消灯)を確認し、[サイド1]、または[サイド2]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。

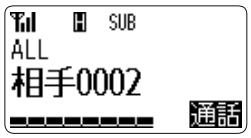


サブチャンネル1で送信中

7　サブチャンネルPTT機能

■ サブチャンネルで受信する

サブチャンネルで受信すると、サブチャンネルに設定されたメモリーチャンネル表示になります。



サブチャンネル1の個別呼び出しで受信中

応答するときは、そのサブチャンネルが設定されている[サイド1]、または[サイド2]を押します。

※サブチャンネルで受信したとき、[PTT]で応答できるようにするには、設定が必要です。(P.8-15)

ご注意

「SUB」が点灯しているあいだ、無線機は常にサブチャンネルをスキャンしています。

[メニュー/🔑]、または[個別番号帳]の操作後など、サブチャンネルのスキャンが一時停止中(「SUB」点滅)は、サブチャンネルで受信できませんので、ご注意ください。

8 各種機能の設定

本製品の設定モードから、設定できる機能を変更する方法について説明します。
設定できる項目は、お買い上げいただいたときの設定によって異なります。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 設定一覧(無線機表示)

無線機本体側で表示される設定項目について説明しています。

設定項目	初期設定	参照
着信表示	OFF	P.8-5
ポケットビープ	OFF	P.8-5
ポケットビープメロディ	1	P.8-5
送信モニタービープ	ON	P.8-5
終話ビープ	ON	P.8-5
ビープ音量	連動	P.8-5
ビープ固定音量	10	P.8-5
ユーザーコード	共通	P.8-6
秘話機能	通常	P.8-6
秘話設定	共通	P.8-6
チャンネル音声案内	ON	P.8-6
マイクゲイン	0	P.8-6
ノイズキャンセル	OFF	P.8-6
送信イコライザー	OFF	P.8-7
受信イコライザー	OFF	P.8-7
VOX機能	OFF	P.8-7
VOX感度	3	P.8-7
VOXディレイ	1.5	P.8-7
個別呼出	OFF	P.8-7
自局番号	0001	P.8-7
相手番号表示	ON	P.8-8
グループ番号表示	OFF	P.8-8
グループ設定	01	P.8-8
着信履歴表示	OFF	P.8-8
発信履歴表示	OFF	P.8-8
他局通話受信	可	P.8-8
終話後表示	話前	P.8-8
発着履歴消去	― ― ―	P.8-9
エマージェンシー機能	OFF	P.8-9
キーロック時音量操作	有効	P.8-9
オートキーロック	OFF	P.8-9
Pキー短押し	ホーム	P.8-9
Pキー長押し	モニター	P.8-9
スキャン機能	PRI	P.8-10
スキャンチャンネル	01	P.8-10
スキャン停止時間	10秒	P.8-10
スキャン再開時間	5秒	P.8-10
通話後スキャン動作	解除	P.8-11
プライベートCH機能	ON	P.8-11
プライベートCH	呼出	P.8-11
ワンタッチアンサー	再生	P.8-11
一時音量切替	−5	P.8-11
スピーカー出力	自動	P.8-11
キャリアスケルチ	OFF	P.8-12
Sメータ表示	ON	P.8-12
上空CH	OFF	P.8-12
バックライト	ON	P.8-12
本体コントラスト	12	P.8-12
本体表示輝度	3	P.8-12
GPS★1	OFF	P.8-12
GPS送信	OFF	P.8-13
自局位置登録	ON	P.8-13
GPS情報初期化	― ― ―	P.8-13
Bluetooth機能★2	OFF	P.8-13
ユーザーリセット	― ― ―	P.8-13

★1 外部機器接続ケーブルが装着されている無線機に、GPSユニット(UX-267)を接続すると、表示される項目です。
★2 Bluetooth機能については、6章をご覧ください。

■ 設定一覧(コマンドマイク表示)

無線機にコマンドマイク(HM-253)接続すると、表示される設定項目について説明しています。

設定項目	初期設定	参照
着信表示	OFF	P.8-5
ビープ		
ポケットビープ	OFF	P.8-5
ポケットビープメロディ	1	P.8-5
送信モニタービープ	ON	P.8-5
終話ビープ	ON	P.8-5
ビープ音量	連動	P.8-5
ビープ固定音量	10	P.8-5
ユーザーコード	チャンネル共通	P.8-6
秘話機能	通常秘話	P.8-6
秘話設定	チャンネル共通	P.8-6
チャンネル音声案内	ON	P.8-6
マイクゲイン	0dB	P.8-6
ノイズキャンセル	OFF	P.8-6
送信イコライザー	OFF	P.8-7
受信イコライザー	OFF	P.8-7
VOX		
VOX機能	OFF	P.8-7
VOX感度	3	P.8-7
VOXディレイ	1.5秒	P.8-7
呼出制御の設定		
個別呼出	OFF	P.8-7
自局番号	個別0001	P.8-7
相手番号表示	ON	P.8-8
グループ番号表示	OFF	P.8-8
グループ設定	グループ01	P.8-8
着信履歴表示	OFF	P.8-8
発信履歴表示	OFF	P.8-8
他局通話受信	受信可	P.8-8
終話後表示	通話前表示	P.8-8
発着履歴消去	実行しない	P.8-9
エマージェンシー機能	OFF	P.8-9
キーロック時音量操作	有効	P.8-9
オートキーロック	OFF	P.8-9

設定項目	初期設定	参照
キー割当		
Pキー短押し	ホーム	P.8-9
Pキー長押し	モニター	P.8-9
サイド1キー短押し★1	無効	P.8-14
サイド1キー長押し★1	無効	P.8-14
サイド2キー短押し★1	無効	P.8-14
サイド2キー長押し★1	無効	P.8-14
スキャン機能	プライベートCHスキャン	P.8-10
スキャンチャンネル	CH 01	P.8-10
スキャン停止時間	10秒	P.8-10
スキャン再開時間	5秒	P.8-10
通話後スキャン動作	スキャン解除	P.8-11
プライベートCH機能	ON	P.8-11
プライベートCH	呼出CH	P.8-11
サブチャンネルPTT		
サブチャンネル1設定★1	CH 01	P.8-14
サブチャンネル2設定★1	CH 02	P.8-14
メインPTT CH切替★1	固定	P.8-15
サブPTT動作★1	短押し	P.8-15
メインCH★1	OFF	P.8-15
サブCH1★1	OFF	P.8-15
サブCH2★1	OFF	P.8-15
送信後再開時間★1	終話	P.8-15
受信後再開時間★1	終話	P.8-16
操作後再開時間★1	10秒	P.8-16
メイン⇒サブ1★1	OFF	P.8-16
サブ1⇒メイン★1	OFF	P.8-16
メイン⇒サブ2★1	OFF	P.8-16
サブ2⇒メイン★1	OFF	P.8-16
サブ1⇒サブ2★1	OFF	P.8-17
サブ2⇒サブ1★1	OFF	P.8-17
ワンタッチアンサー	再生	P.8-11
一時音量切替	−5	P.8-11
録音再生機能★1	OFF	P.8-17
録音履歴消去★1	実行しない	P.8-17
スピーカー出力	自動判別	P.8-11
キャリアスケルチ	OFF	P.8-12

★1 無線機にコマンドマイク(別売品:HM253)を接続すると、表示される項目です。

■ 設定一覧(コマンドマイク表示)

設定項目	初期設定	参照
Sメータ表示	ON	P.8-12
上空CH	OFF	P.8-12
表示設定		
バックライト	常時点灯	P.8-12
本体コントラスト	12	P.8-12
本体表示輝度	3	P.8-12
マイクコントラスト★2	9	P.8-17
マイク表示輝度★2	5	P.8-17
GPS★1		
GPS	OFF	P.8-12
GPS送信	OFF	P.8-13
自局位置登録	ON	P.8-13
GPS情報初期化	実行しない	P.8-13
Bluetooth★3		
Bluetooth機能	OFF	P.8-13
ユーザーリセット	実行しない	P.8-13

★1 無線機にコマンドマイク(別売品 : HM253)を接続すると、表示される項目です。

★2 外部機器接続ケーブルが装着されている無線機で表示される項目です。

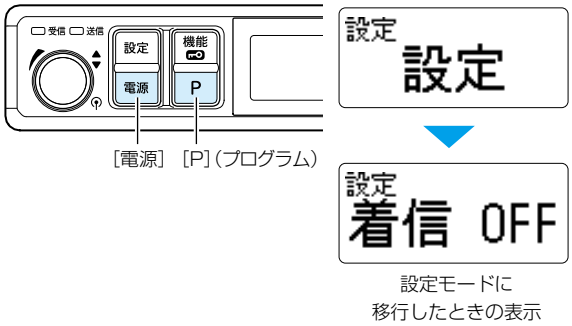
★3 Bluetooth機能については、6章をご覧ください。

8 各種機能の設定

■ 設定モードに移行するには

【操作のしかた】

1. 本製品の電源を切ります。
2. [P]を押しながら、[電源]を押しつづけます。



設定モードに
移行したときの表示

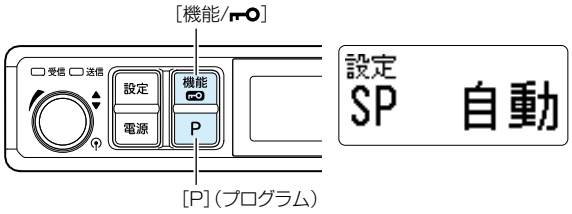
3. 「設定」と表示され、「ピピッ」と鳴ったら、すべてのキーから手をはなします。
   • 設定項目が表示されます。
   ※設定モードを解除するまで通話できません。

■ 設定のしかた

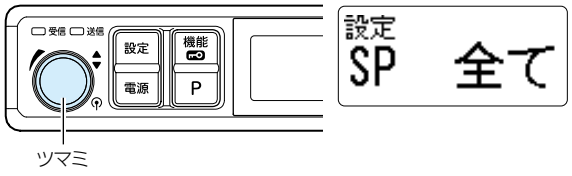
設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

1. [機能/🔑]、または[P]を繰り返し短く押して、設定項目(例：スピーカー出力)を選択します。
   • 現在の設定値(例：自動)が表示されます。



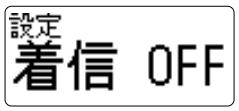
2. ツマミを回して、設定値を選択します。(例：全て)
   ※ほかの機能も変更するときは、手順1、2の操作を繰り返します。



3. [PTT]を押します。
   ※設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。

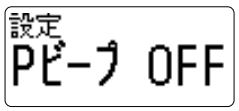
■ 設定項目について

着信表示 （初期設定：OFF）



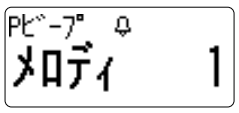
個別呼び出しを受けたとき、[受信]ランプの点滅（橙色）で着信を通知する機能を設定します。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。
- OFF：[受信]ランプは点滅しない
- ON ：[受信]ランプが橙色に点滅する

ポケットビープ （初期設定：OFF）



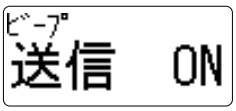
ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたときの呼び出し音やメロディー音を設定します。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。
- OFF ：ポケットビープを使用しない
- 30回 ：「トルルル」と音が30回鳴る
- 3回 ：「トルルル」と音が3回鳴る
- 1分 ：「トルルル」と音が3回鳴ったあと、1分ごとに「トルルル」が1回鳴る
- 連続 ：「トルルル」が3回鳴ったあと、2秒ごとに「トルルル」が1回鳴る
- ピー ：「ピー」が鳴る
- ピピピ ：「ピピピ」が鳴る
- メロディ：「ポケットビープメロディ」で設定したメロディー音が鳴る

ポケットビープメロディ （初期設定：1）



ポケットビープ（着信時の呼び出し音）のメロディーを設定します。
※「ポケットビープ」を「メロディ」に設定したとき、表示されます。
- 選択範囲：1～9

送信モニタービープ （初期設定：ON）



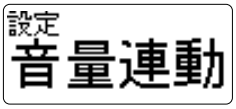
[PTT]を押したときのビープ音を設定します。
※個別呼び出し機能の設定に関わらず、「ピッ」と鳴ります。
※送信禁止に設定されているメモリーチャンネルで[PTT]を押したときなど、送信できない場合、この設定に関係なく、「ブーブー」と鳴ります。
※VOX機能による送信時は、この設定に関係なくビープ音は鳴りません。
- OFF：ビープ音を鳴らさない
- ON ：ビープ音を鳴らす

終話ビープ （初期設定：ON）



相手が終話したときのビープ音について設定します。
- OFF：終話信号受信時にビープ音を鳴らさない
- ON ：終話信号受信時にビープ音を鳴らす

ビープ音量 （初期設定：連動）



ポケットビープが動作したときや、キー操作をしたときなどのビープ音の音量を設定します。
- 連動：無線機本体で調整した音量に連動する
- 固定：ビープ固定音量で設定された音量に固定する

ビープ固定音量 （初期設定：10）



ビープ音量設定を「固定」に設定したときのビープ音の音量を設定します。
※「ビープ音量設定」を「固定」に設定したとき、表示されます。
- 選択範囲：0～32

■ 設定項目について

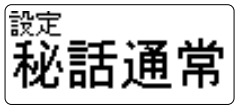
ユーザーコード （初期設定:共通）



メモリーチャンネルに対するユーザーコードの割り当てを設定します。

- CH毎：メモリーチャンネルごとに設定されたユーザーコードを使用する
- 共通 ：メモリーチャンネル共通のユーザーコードを使用する

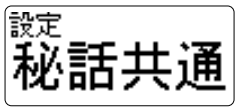
秘話機能 （初期設定:通常）



通話時に使用する秘話機能を設定します。

- 通常：秘話機能を使用する
- 拡張：拡張秘話機能を使用する

秘話設定 （初期設定:共通）



メモリーチャンネルに対する秘話キーの割り当てを設定します。

- CH毎：メモリーチャンネルごとに設定された秘話機能を使用する
- 共通 ：メモリーチャンネル共通の秘話キーを使用する

チャンネル音声案内 （初期設定:ON）



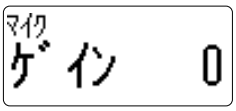
無線機の電源を入れたときや、メモリーチャンネルを切り替えたとき、設定されたメモリーチャンネル番号を読み上げる機能について設定します。

※「呼出CH」（呼出用チャンネル:CH15）選択時は、「呼び出し」と読み上げます。

※「CH S1～CH S15」（上空用チャンネル）選択時は、「上空1」（例:CH S1）と読み上げます。

- OFF：メモリーチャンネル番号を読み上げない
- ON ：メモリーチャンネル番号を読み上げる

マイクゲイン （初期設定:0）



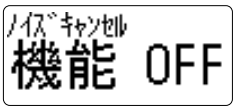
マイクの感度を設定します。

※感度を高く設定（数値を大きく）すると比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、まわりの音も聞こえやすくなります。

※この設定は別売品のBluetoothのマイクにも適用されます。

- 選択範囲（3db刻み）：－15（低）～0（中）～18（高）

ノイズキャンセル （初期設定:OFF）

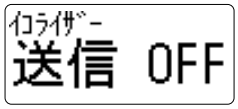


送信音声に含まれるノイズを軽減する機能を設定します。

- OFF:使用しない
- ON ：使用する

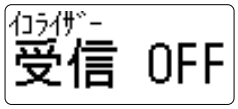
■ 設定項目について

送信イコライザー （初期設定：OFF）



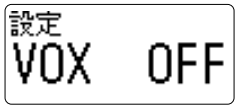
送信時の音質を強調した音質に変更にするときの設定です。
送信側で設定した音声が受信側のスピーカーから出力されます。
※ワンタッチアンサー機能で録音する音声、および送信時に再生される音声では動作しません。
● 選択範囲：OFF、低音、中音、高音、低高

受信イコライザー （初期設定：OFF）



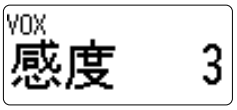
受信時の音質を強調した音質に変更するときの設定です。
受信音以外に録音時の再生音や音声案内も変更されます。
※受信した音声に対して動作します。
● 選択範囲：OFF、低音、中音、高音、低高

VOX機能 （初期設定：OFF）



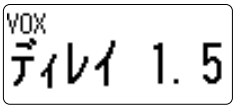
マイクからの音声によって、送信と受信を自動的に切り替える機能の設定です。
発声をやめると、受信に切り替わります。
※VOX機能を設定した場合、無線機に衝撃が加わると送信することがありますが、故障ではありません。
● OFF：VOX機能を使用しない
● HM ：別売品のハンドマイクでVOX機能を使用する
● HS ：Bluetooth機器のマイクでVOX機能を使用する

VOX感度 （初期設定：3）



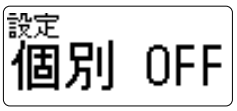
VOX機能の感度を設定します。
※「VOX機能」を「HM」、または「HS」に設定したとき、表示されます。
※感度を高く設定（数値を大きく）すると、比較的小さな声でも送信しますが、まわりの音でも送信しやすくなります。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。
● 選択範囲：1（低い）～5（高い）

VOXディレイ （初期設定：1.5）



VOX機能使用時に、発声を止めてから、待ち受け受信状態に切り替わるまでの時間を設定します。
※「VOX機能」を「HM」、または「HS」に設定したとき、表示されます。
※時間を長く設定すると、発声が途切れた場合でも送信をつづけますが、受信状態になるまでの時間が長くなります。
● 選択範囲（0.5秒刻み）：0.5～3.0

個別呼出 （初期設定：OFF）



特定の相手やグループなど、個別の相手だけを呼び出す機能を設定します。
● OFF：個別呼び出し機能を使用しない
● ON ：個別呼び出し機能を使用する

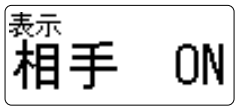
自局番号 （初期設定：0001）



個別呼び出しに使用する自局の個別番号です。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
※設定した自局番号は、個別呼び出し、または緊急呼び出しを受けた相手の無線機に表示されます。
● 選択範囲：0001～9999

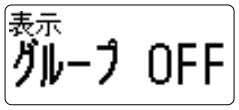
■ 設定項目について

相手番号表示 （初期設定：ON）



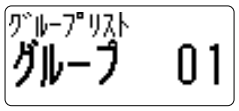
[機能/⊶]を押したときの相手番号表示について設定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
- OFF：相手番号を表示しない
- ON ：相手番号を表示する

グループ番号表示 （初期設定：OFF）



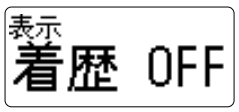
[機能/⊶]を押したときのグループ番号表示について設定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
- OFF：グループ番号を表示しない
- ON ：グループ番号を表示する

グループ設定 （初期設定：01）



グループ呼び出しを受けたとき、着信するグループ番号をメンバーに指定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
- 選択範囲：01～10

着信履歴表示 （初期設定：OFF）



[機能/⊶]を押したときの着信履歴表示について設定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。
- OFF：着信履歴を表示しない
- ON ：着信履歴を表示する

発信履歴表示 （初期設定：OFF）



[機能/⊶]を押したときの発信履歴表示について設定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。
- OFF：発信履歴を表示しない
- ON ：発信履歴を表示する

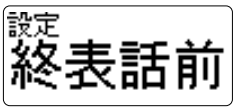
他局通話受信 （初期設定：可）



他局間通話の傍受について設定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したとき、表示されます。
- 可 ：他局間の呼び出しや通話を受信してもスケルチを閉じない
- 不可：自局宛の信号と認識できるまでスケルチを開かない

ご注意
「不可」に設定していても、自局が通話中のときは、同じメモリーチャンネルであればどのような信号でも受信します。

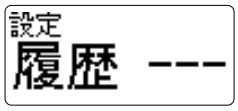
終話後表示 （初期設定：話前）



通話が終わった（待ち受け状態）とき、無線機の表示をどの状態にするかを設定します。
※「個別呼び出し」を「ON」に設定したときに表示されます。
※終話後に何も操作しないときは、5秒後に表示が切り替わります。
- 話前 ：通話前に表示していた内容を、終話後に再度表示する
- ホーム：グループ呼び出し、または全局呼び出しを受けたときだけ、通話チャンネル表示に戻る
  ※個別呼び出しを受けた場合は、相手局番号を点滅表示します。

■ 設定項目について

発着履歴消去 （初期設定:ーーー）



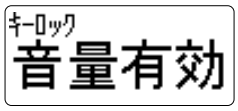
記録された発信履歴、および着信履歴を消去します。
※「消去」を選択して、[PTT]を押した時点で、履歴が消去されます。
- ーーー:履歴を消去しない
- 消去 :履歴を消去する

エマージェンシー機能 （初期設定:OFF）



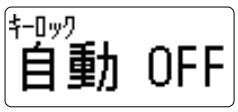
緊急呼び出し機能の使用について設定します。
※緊急呼び出し機能を使用するには、この機能と個別呼び出し機能の両方を送信側と受信側の無線機に設定してください。
- OFF:緊急呼び出し機能を使用しない
- ON :緊急呼び出し機能を使用する

キーロック時音量操作 （初期設定:有効）



ロック機能動作中の音量調整について設定します。
- 無効:音量調整を無効にする
- 有効:音量調整を有効にする

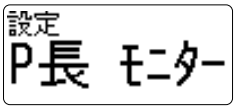
オートキーロック （初期設定:OFF）



一定時間、スイッチやキー、ツマミが操作されないとき、操作が自動的にキーロックされるまでの時間を設定します。
- 選択範囲:OFF、15秒、30秒、1分、3分、5分、10分

Pキー短押し （初期設定:ホーム）
Pキー長押し （初期設定:モニター）

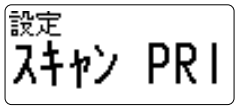




[P]キーを短く押したとき、長く押したときの動作を設定します。
- 無効 :使用しない
- スキャン :スキャン機能を使用する
- スキップ :スキャン一時スキップ機能を使用する
  ※スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する機能です。
- 音量 :一時的に音量を変更する
- 固定 :音量固定機能の開始/停止を切り替える
- 案内 :通話チャンネル番号を読み上げる
  ※チャンネル番号音声を「OFF」に設定したときは動作しません。
- 出力 :送信出力を切り替える
- ロック :キーロック機能を切り替える
- 名称 :名称と周波数表示を切り替える
- アンサー :ワンタッチアンサー機能を使用する
- GPS :取得したGPS情報を表示する
- 距離 :GPSデータ受信中に相手局との距離と方位を表示する
  ※コマンドマイク(別売品:HM-253)を接続していないときに動作する機能です。
- 拡声 :拡声器の動作開始/停止を切り替える
- ホーム :通話チャンネル表示に戻す
- ツマミ :コマンドマイク(別売品:HM-253)を接続しているとき、無線機本体のツマミの動作(音量/通話チャンネル)を切り替える
- RSSI :RSSI/BER表示動作開始/停止を切り替える
- モニター :モニター機能を使用する
  ※Pキー長押しだけに割り当てできる項目です。

■ 設定項目について

スキャン機能 （初期設定：PRI）



[P]キー、または[サイド]キーを操作したとき、動作するスキャンの種類を設定します。

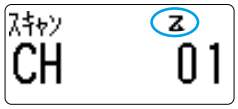
※Pキー、またはサイドキーに「スキャン」を設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目の表示もされません。

- PRI：プライベートチャンネルスキャンを有効にする
- MC：メモリーチャンネルスキャンを有効にする

スキャンチャンネル （初期設定：01）

指定時、点灯



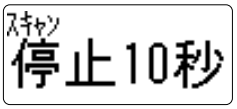
スキャンするメモリーチャンネルを設定します。
ツマミを回してチャンネルを選択後、ツマミを長押しするごとに、メモリーチャンネルの対象チャンネルに指定/解除が切り替わります。

※「スキャン機能」を「MC」に設定したとき、表示されます。

- 選択範囲：01～14、呼出、16～82、S01～S15★

★「上空用チャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

スキャン停止時間 （初期設定：10秒）



信号を受信中、プライベートチャンネルスキャン、またはメモリーチャンネルスキャンを一時停止する時間を設定します。

※Pキー、またはサイドキーに「スキャン」を設定したとき、表示されます。

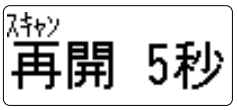
※電波を受信中に、スキャン停止時間が経過すると、スキャンを再開します。
なお、スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたときは、「スキャン再生時間」の設定にしたがってスキャンを開始します。

※「保持」を設定したときは、待ち受け状態になるまでスキャンを停止します。

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目の表示もされません。

- 選択範囲：2秒～20秒（2秒刻み）、保持

スキャン再開時間 （初期設定：5秒）



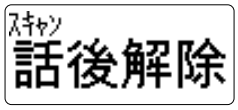
スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開するまでの時間を設定します。

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目の表示もされません。

- 即時　　：すぐにスキャンを再開
- 1秒～5秒：設定時間後にスキャンを再開
- なし　　：スキャンを再開しない

■ 設定項目について

通話後スキャン動作 （初期設定：解除）



スキャン中、[PTT]を押したとき、通話終了後のスキャン動作を設定します。

※Pキー、またはサイドキーに「スキャン」を設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」を「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目の表示もされません。

- 再開：通話終了後、再開する
- 解除：通話終了後、解除する

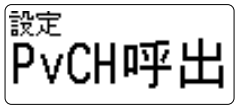
プライベートCH機能 （初期設定：ON）



プライベートチャンネル機能を設定します。

- OFF：プライベートチャンネル機能を使用しない
- ON ：プライベートチャンネル機能を使用する

プライベートCH （初期設定：呼出）



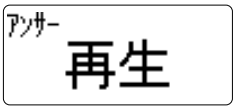
通話チャンネル、または上空用チャンネル（S01～S15）からプライベートチャンネルを設定します。

※「プライベートチャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

- 選択範囲：01～14、呼出、16～82、S01～S15★

★「上空用チャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

ワンタッチアンサー （初期設定：再生）



ワンタッチアンサー機能で送信する音声の録音、再生、消去をします。

※Pキー、またはサイドキーに「アンサー」を設定したとき、表示されます。

- 再生：ツマミを長押しすると、録音した音声を確認（再生）する
- 録音：[PTT]を押しているあいだだけ、音声を録音する
- 消去：ツマミを長押しすると、録音内容が消去され、「再生」が表示される

一時音量切り替えレベル （初期設定：－5）



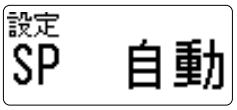
信号を受信中に、周囲の会話、または通話相手の音声を聴きたいときなど、設定されている音量を基準として、音量を瞬時に変更するレベルを設定します。

※Pキー、またはサイドキーに「音量」を設定したとき、表示されます。

※「キーロック時の音量操作」が「無効」に設定されている場合、キーロック時は動作しません。

- 選択範囲：－32～－1、+1～+32

スピーカー出力 （初期設定：自動）



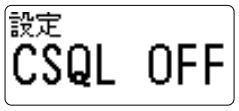
外部スピーカー接続時、マイクロホンのスピーカー動作を設定します。

初期設定では、外部スピーカーを接続したときは、マイクロホンのスピーカーから音を出力しません。両方から出力するときは「全て」を設定してください。

- 自動：外部スピーカーを接続すると、マイクロホンのスピーカーが無効になる
- 全て：外部スピーカーと、マイクロホンのスピーカーの両方が有効になる
- HM ：外部スピーカーを接続しても、マイクロホンのスピーカーだけが有効になる

■ 設定項目について

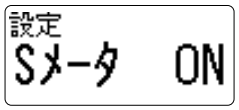
キャリアスケルチ （初期設定：OFF）



弱電界の妨害波による誤着信を抑制するため、一定レベル以上の電界強度がない場合、他局からの信号を受信しても音声出力しない機能を設定します。

- 選択範囲：OFF、1～5

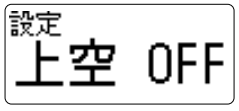
Sメータ表示 （初期設定：ON）



受信信号強度をSメーターで表示するかしないかを設定します。

- OFF：Sメーターを表示しない
- ON ：Sメーターを表示する

上空CH （初期設定：OFF）

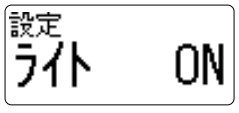


上空用チャンネル（S1～S15）の使用について設定します。

※下記の条件では上空用チャンネルを「OFF」に設定できません。
◎上空用チャンネルだけ有効の場合
◎プライベートチャンネルに上空用チャンネルが設定されている場合
※チャンネルの有効/無効については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- OFF：上空用チャンネルを使用しない
- ON ：上空用チャンネルを使用する

バックライト （初期設定：ON）



表示部のバックライト状態を設定します。

- OFF：常時消灯
- 自動：キー操作時バックライト点灯
- ON ：常時点灯

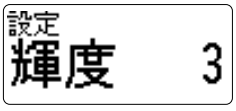
本体コントラスト （初期設定：12）



無線機（表示部）のコントラスト（濃淡）を調整します。
※ツマミを長押しすると、初期設定値に戻ります。

- 選択範囲：0（淡）～25（濃）

本体表示輝度 （初期設定：3）



無線機（表示部）と各キーの照明の明るさを設定します。

- 選択範囲：1～4

GPS （初期設定：OFF）



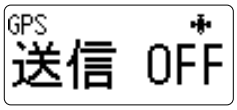
GPS機能を設定します。

※自局位置情報の表示や送信には、別売品のGPSユニット（UX-267）を無線機（後面）の外部機器接続ケーブル（D-Sub 9pinコネクター）に接続する必要があります。
※別売品のGPSユニット（UX-267）の設置場所や建物の周辺環境によって、GPS衛星からの信号を受信（測位）できない場合があります。
※「手動」に設定したとき、すでに測位した情報を自局の位置情報として登録している場合は、その位置情報が使用されます。
位置情報の入力は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。

- OFF：GPS機能を使用しない
- ON ：GPS機能を使用する
- 手動：GPSを使用せず、手動で入力した位置情報を使用する

■ 設定項目について

GPS送信 （初期設定：OFF）



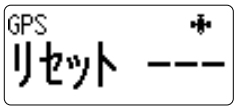
測位した自局の位置情報を送信するかどうかを設定します。
※「GPS」を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。
- OFF：自局の位置情報を送信しない
- ON ：[PTT]を押すと同時に、測位した自局の位置情報を送信する

自局位置登録 （初期設定：ON）



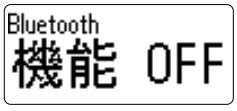
測位した情報を、自局の位置情報として登録するかどうかを設定します。
※「GPS」を「ON」に設定したとき、表示されます。
※サブチャンネルPTT機能とは併用できません
- OFF：測位した位置情報を、自局位置情報として登録しない
- ON ：測位した位置情報を、自局位置情報として登録する

GPS情報初期化 （初期設定：ーーー）



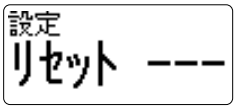
測位した自局の位置情報を初期化（リセット）します。
※「GPS」を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。
※初期化をしたあとは、「ーーー」に切り替わります。
※「実行」を選択後、ツマミを長押ししない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「ーーー」に切り替わります。
- ーーー：初期化しない
- 実行　：ツマミを長押しすると、初期化する

Bluetooth機能 （初期設定：OFF）



Bluetooth機能を設定します。
※Bluetooth機能については、6章をご覧ください。
- OFF：Bluetooth機能を使用しない
- ON ：Bluetooth機能を使用する

ユーザーリセット （初期設定：ーーー）



無線機のすべての設定を工場出荷時の状態に戻す（リセットする）ときの操作です。
※「実行」を選択後、ツマミを押さずに、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「ーーー」に切り替わります。
- ーーー：初期化しない
- 実行　：ツマミを押すと、初期化する

■ 設定項目について

※以降の項目は、コマンドマイク(別売品:HM-253)接続時だけに表示される設定です。

サイド1キー短押し (初期設定:無効)
サイド1キー長押し
サイド2キー短押し
サイド2キー長押し



コマンドマイク(別売品:HM-253)使用時、「キー割当」項目から下の階層に表示され、[サイド1]/[サイド2]を短く押したとき、長く押したときの動作を設定します。

- 無効 :使用しない
- スキャン :スキャン機能を使用する
- スキャン一時スキップ
  :スキャン一時スキップ機能を使用する
  ※スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する機能です。
- 一時音量切替:一時的に音量を変更する
- 音量固定 :音量固定機能の開始/停止を切り替える
- チャンネル音声案内
  :通話チャンネル番号を読み上げる
  ※チャンネル番号音声を「OFF」に設定したときは動作しません。
- 送信出力 :送信出力を切り替える
- キーロック :キーロック機能を切り替える
- 名称と周波数:名称と周波数表示を切り替える
- ワンタッチアンサー
  :ワンタッチアンサー機能を使用する
- GPS情報 :取得したGPS情報を表示する
- 拡声器 :拡声器の動作開始/停止を切り替える
- ホーム :通話チャンネル表示に戻す
- ツマミ切替 :コマンドマイク(別売品:HM-253)を接続しているとき、無線機本体のツマミの動作(音量/通話チャンネル)を切り替える
- サブチャンネルPTT
  :サブチャンネルPTT機能を使用する
- RSSI :RSSI/BER表示動作開始/停止を切り替える
- モニター :モニター機能を使用する
  ※選択できるのは、「サイド1キー長押し」、「サイド2キー長押し」だけです。

サブチャンネル1設定 (初期設定:CH 01)



サブチャンネル1に割り当てる通話チャンネルを設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」が「サイド1キー短押し」、または「サイド1キー長押し」の場合:
[サイド1]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信します。

※「サブチャンネルPTT」が「サイド2キー短押し」、または「サイド2キー長押し」の場合:
[サイド2]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信します。

※上空用チャンネル(CH S01～CH S15)では送信できません。

- 選択範囲:CH 01～CH 14、呼出CH、
  CH 16～CH 82、CH S01～CH S15★

★「上空用チャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

サブチャンネル2設定 (初期設定:CH 02)



サブチャンネル2に割り当てる通話チャンネルを設定します。

※両方のサイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

※[サイド2]を押しているあいだ、割り当てた通話チャンネルで送信します。

※上空用チャンネル(CH S01～CH S15)では送信できません。

- 選択範囲:CH 01～CH 14、呼出CH、
  CH 16～CH 82、CH S01～CH S15★

★「上空用チャンネル」を「ON」に設定したとき、表示されます。

■ 設定項目について

メインPTT CH切替 （初期設定：固定）



「サブチャンネル1」、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルで受信時、[PTT]を押したときの動作を設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

- 固定：[PTT]を押すとメインチャンネルで送信する
  ※サブチャンネルの受信に応答できません。
- 応答：[PTT]を押すと、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで応答する
  ※応答中は、サブチャンネルで受信する前に表示されていた通話チャンネルでは送信されません。

サブPTT動作 （初期設定：短押し）



「サブチャンネル1」、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルを無線機の[サイド1]、[サイド2]で送信するときの操作を設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

- 短押し：[サイド1]、[サイド2]を押しつづけると、即時送信する
- 長押し：[サイド1]、[サイド2]を押しつづけると、約1秒後に送信する

メインCH （初期設定：OFF）



無線機に現在表示されている通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

- 選択肢：OFF、ビープ1-1～1-3、ビープ2-1～2-9、ビープ3-1～3-3

サブCH1 （初期設定：OFF）



「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

- 選択肢：OFF、ビープ1-1～1-3、ビープ2-1～2-9、ビープ3-1～3-3

サブCH2 （初期設定：OFF）



「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

- 選択肢：OFF、ビープ1-1～1-3、ビープ2-1～2-9、ビープ3-1～3-3

送信後再開時間 （初期設定：終話）



送信後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

- 終話：送信後、約5秒が経過してからスキャンを再開する
- 即時：送信後、すぐにスキャンを再開する
- 1秒～5秒（1秒刻み）、10秒、15秒、20秒
  ：送信後、設定した時間が経過してからスキャンを再開する

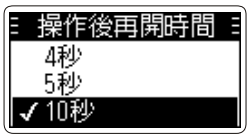
■ 設定項目について

受信後再開時間 （初期設定：終話）



信号がなくなってから、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。
※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。
- 終話：信号がなくなって、約5秒が経過してからスキャンを再開する
- 即時：信号がなくなったら、すぐにスキャンを再開する
- 1秒～5秒（1秒刻み）、10秒、15秒、20秒
  ：信号がなくなって、設定した時間が経過してからスキャンを再開する

操作後再開時間 （初期設定：10秒）



チャンネル切り替えなどの操作後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。
※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。
- 選択肢：1秒～5秒（1秒刻み）、10秒、20秒、30秒

メイン⇒サブ1 （初期設定：OFF）



メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。
※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。
※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます。
- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

サブ1⇒メイン （初期設定：OFF）



「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。
※サイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。
※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます。
- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

メイン⇒サブ2 （初期設定：OFF）



メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。
※両方のサイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。
※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます。
- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

サブ2⇒メイン （初期設定：OFF）



「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。
※両方のサイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。
※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます。
- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

■ 設定項目について

サブ1⇒サブ2 （初期設定：OFF）



「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルを受信中、「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

※両方のサイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます。

- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

サブ2⇒サブ1 （初期設定：OFF）



「サブチャンネル2」に設定した通話チャンネルを受信中、「サブチャンネル1」に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

※両方のサイドキーに「サブチャンネルPTT」を設定したとき、表示されます。

※「OFF」に設定したときは、他のチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして選択できます。

- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

録音再生機能 （初期設定：OFF）



コマンドマイク（別売品:HM-253）使用時、自局宛の通話を録音、および再生する機能を設定します。

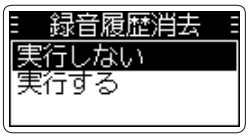
※再生中に自局宛の呼び出しを受信したときは、録音しながら、受信音声を出力します。

※この設定は、ワンタッチアンサー（拡張子:ica）の音声録音や再生の機能には影響ありません。

※サブチャンネルPTT機能とは併用できません。

- OFF：録音再生機能を使用しない
- ON ：録音再生機能を使用する

録音履歴消去 （初期設定：実行しない）



コマンドマイク（別売品:HM-253）使用時、録音された通話履歴を消去する機能です。

- 実行しない：録音履歴を消去しない
- 実行する　：録音履歴を消去する

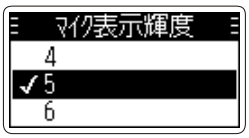
マイクコントラスト （初期設定：9）



コマンドマイク（別売品:HM-253）使用時、「表示設定」項目から下の階層に表示され、コマンドマイクのコントラスト（濃淡）を調整します。

- 選択範囲：0～18

マイク表示輝度 （初期設定：5）



コマンドマイク（別売品:HM-253）使用時、「表示設定」項目から下の階層に表示され、コマンドマイクの表示部と各キーの照明の明るさを設定します。

- 選択範囲：1～7

9 別売品とその使いかた

■ 別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障、または動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ ホームページに掲載

別売品一覧については、弊社ホームページ
https://www.icom.co.jp/ でもご覧いただけます。

■ 別売品一覧表

★: IP54の防塵/防水性能があります。
上記、防塵、防水性能は、「IP表記」(P.ii) をご覧ください。

外部スピーカー

SP-30 :外部スピーカー(20W/4Ω)
※ケーブル長:約2.8m

SP-35/SP-35H
:外部スピーカー(5W/4Ω)
※ケーブル長:約2m

SP-35L :外部スピーカー(5W/4Ω)
※ケーブル長:約6m

外部電源

PS-230A :卓上電源装置(スピーカー内蔵:7W/8Ω)

マイクロホン/ヘッドセット関係

AM-6 :マグネット基台付きマイクロホン
※ケーブル長:約2.5m
※自動車のダッシュボードなどに、マグネット、または付属のネジで固定できます。

SM-28 :デスクトップマイクロホン

HM-249 :車載用ハンズフリーマイクロホン

HM-253★ :コマンドマイク
※OPC-2355を使用したときは、本製品、およびHM-253の防塵/防水性能を維持できません。

HM-254★ :防水スピーカーマイクロホン
※OPC-2355を使用したときは、本製品、およびHM-254の防塵/防水性能を維持できません。

OPC-2355 :マイクロホン延長ケーブル(約2.5m)
※HM-249、HM-254、HM-253のいずれかでお使いになれます。
※最大2本まで接続してお使いになれます。

OPC-2500 :マイクロホン/リモートPTTボタンケーブル延長用ケーブル
※HM-249でお使いになれます。

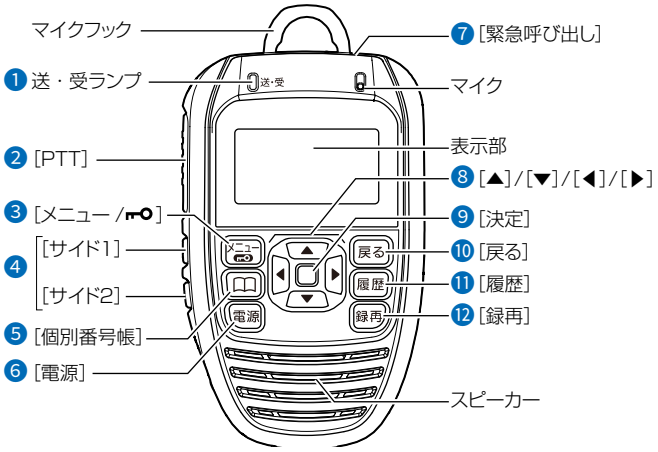
その他

UX-267 :GPSユニット
※自局位置情報の表示や送信には、別売品のGPSユニット(UX-267)を無線機(後面)の外部機器接続ケーブル(D-Sub 9pinコネクター)に接続する必要があります。
詳しくは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

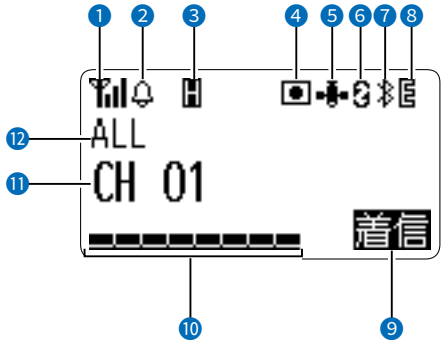
■ HM-253(コマンドマイク)

緊急呼び出し機能に対応した多機能マイクロホンです。
本製品に接続することで、IP54の防塵/防水性能があります。

◇ 操作部



◇ 表示部



❶ 送・受ランプ
緑色:受信中、赤色:送信中、橙色:着信時

❷ [PTT]
押す:送信状態、はなす:待ち受け状態

❸ [メニュー/🔒]
短く押す:メニュー画面、長く押す:ロック機能ON/OFF

❹ [サイド1]/[サイド2]
機能を割り当てて使用するキーです。

❺ [個別番号帳]
押すごとに、全局/個別/グループ番号を選択する画面に切り替わります。

❻ [電源]
電源をON/OFFします。

❼ [緊急呼び出し]
長く(5秒以上)押すと、緊急呼び出しを開始します。
プライベートチャンネル機能が設定されている場合、短く押すと、プライベートチャンネルに切り替わります。

❽ [▲]/[▼]/[◀]/[▶]
[▲]/[▼]:通話チャンネル番号、[◀]/[▶]:音量調整

❾ [決定]
選択した内容を確定します。

❿ [戻る]
メニュー画面:1つ上の階層に戻る、通話後:終話する

⓫ [履歴]★
押すごとに、着信/発信/録音履歴画面に切り替わります。

⓬ [録再]
短く押す:録音/一時停止、長く押す:最新録音内容の再生

❶ 電波状態表示(P.1-2)

❷ ベル表示(P.1-2)

❸ 送信出力表示(P.1-2)

❹ 録音/再生表示
:録音データあり、:録音中、:録音一時停止

❺ GPS表示(P.1-2)

❻ 秘話表示

❼ Bluetooth機能表示(P.1-2)

❽ 緊急呼び出し(エマージェンシー)表示
緊急呼び出し機能が設定されているとき、表示されます。

❾ 通話/呼出/着信表示
通話:個別呼び出し機能で通話中
呼出:個別局呼び出しで送信中
着信:自局宛ての個別呼び出しを受信したとき

❿ Sメーター表示(P.1-2)

⓫ CH表示
通話チャンネルが表示されます。

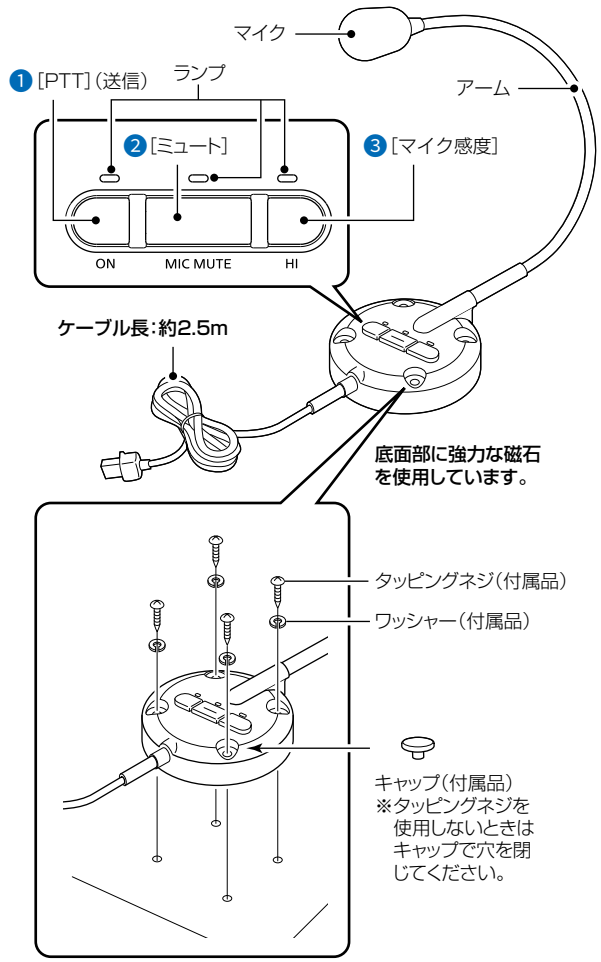
⓬ 個別呼び出し種別表示
個別呼び出し機能が設定されているとき、個別呼び出しの種類が表示されます。

★お買い上げの販売店で設定されている場合だけ、動作、または表示されます。

9　別売品とその使いかた

■ AM-6（マグネット基台付きマイクロホン）

単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホンです。
自動車のダッシュボードなど、底面部のマグネットで取り付けできない場所での使用に適しています。
マグネットで固定できない場所へは、下図のように付属のネジで固定してください。
※外部スピーカー（別売品）と併せてご使用ください。



タッピングネジ使用時

❶ **[PTT]**（送信）
押すと送信状態に、もう一度押すと待ち受け状態になります。
※送信状態のあいだは、ランプが青色に点灯します。
※本製品の電源を入れる前に、[PTT]が押されていない状態であることを確認してください。

❷ **[ミュート]**
押すとマイクをミュート（消音）し、もう一度押すとミュートを解除します。
※ミュートにしているあいだは、ランプが赤色に点灯します。

❸ **[マイク感度]**
押すとマイク感度が高くなり、もう一度押すと低くなります。
※感度が高いあいだは、ランプが緑色に点灯します。
※マイクとの距離、声の大きさ、周囲の騒音など、環境に応じて、切り替えてください。

底面部に強力な磁石を使用しています。

⚠警告

心臓ペースメーカーなど電子医療機器をお使いのかたは、心臓ペースメーカーなどの植え込み部位の上にマイクロホンの底面部を近づけたり、当てたりしないでください。
電子医療機器などの動作に影響を与え、生命の危険があります。

⚠注意

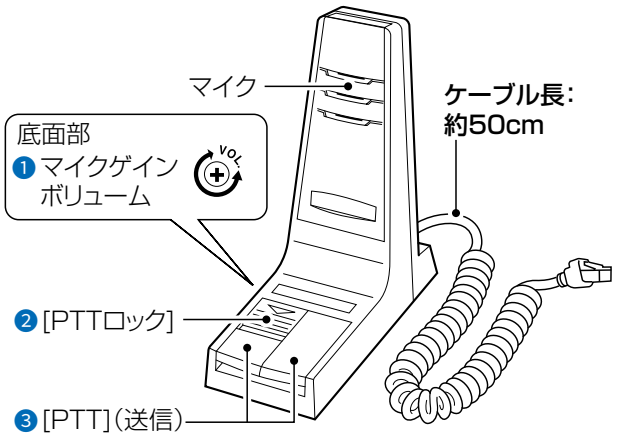
時計、コンパスや精密機器、キャッシュカードやクレジットカードなどの磁気カードを近づけないでください。
製品の誤動作の原因になったり、磁気カードの内容が消去されたりすることがあります。

ご参考

◎製品の構造上、アーム部を曲げる位置によっては自立できませんので、底面部のマグネットで固定できるように別途鉄板などをご用意ください。
◎付属のネジで固定するとき、基台にある4ヵ所のネジ穴がキャップでふさがれている場合は、ペン先などでキャップの裏側から押してはずしてください。
◎マイクの位置調整や[PTT]を押すときは、操作音（雑音）が相手に聞こえないよう、[ミュート]を押してマイクをオフ（消音）にしてください。

■ SM-28(デスクトップマイクロホン)

マイクアンプ内蔵の単一指向性ダイナミックマイクロホンです。
デスク上など、平面での使用に適しています。
※外部スピーカー(別売品)と併せてご使用ください。



❶ マイクゲインボリューム
マイクとの距離、声の大きさ、周囲の騒音など、環境に応じて、マイクの感度を調整します。
※ボリュームを左に回すと、感度が高くなります。

❷ [PTTロック]
押しながら三角印の方向にスライドすると、[PTT](送信)がロックされ、ハンズフリーで送信できます。ロックを解除するときは、反対方向にスライドします。

❸ [PTT](送信)
押しているあいだは送信状態、はなすと待ち受け状態に戻ります。

10 保守について

■ 日常の保守と点検について

◎清掃するときは、洗剤や有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

◎定期的に決まった位置の相手局と通話して、通話状態に変化がないかを調べてください。

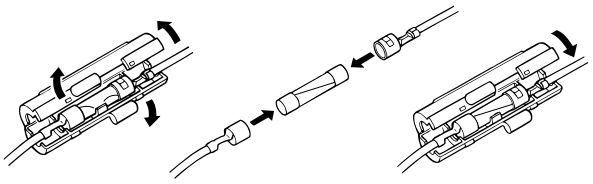
◎音量が最小に調整されていないか、無線機本体のツマミを回して、表示される音量レベルを確認してください。

■ ヒューズの交換について

DC電源ケーブル（付属品）には、2本のヒューズ（125V/5A）が使用されています。

※ヒューズが切れて動作しなくなったときは、原因を取り除いてから新しいヒューズ（付属品）と交換してください。

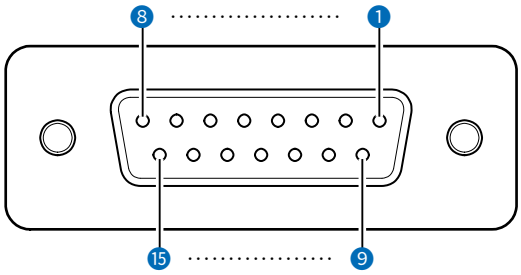
※下図のヒューズカバーには、「5A」のシールが貼られています。



■ 外部機器接続ケーブルの端子について

各機能を使用するには、お買い上げの販売店で設定が必要です。

◇ D-sub 15ピン

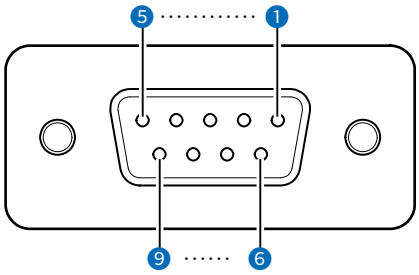


端子番号	端子名	I/O	内容	条件
1	5C	O	DC 5V出力	DC 5V±10% Max100mA
2	GND	—	GND	—
3	TXD1	O	UART通信ポート★	5V CMOSレベル出力(5V 1kΩ内部プルアップ) ※外部BER出力:DATA
4	RXD1	I	UART通信ポート★	5V CMOSレベル入力(5V 47kΩ内部プルアップ)
5	BUSY	O	受信状態出力	AMUTE出力 :AF出力時H (5V 47kΩ内部プルアップ) ※外部BER出力:CLK
6	$\overline{\text{EPTT}}$	I	外部PTT	H(オープン)　　:送信停止 L(GND に接続) :送信 (3.3V 22kΩ内部プルアップ)
7	EAFO	O	外部音声出力	72mVrms typ.(音量最大、10kΩ負荷時) (1031Hz パターン −22dBm0) ※音量固定、または音量調整と連動
8	EMIC	I	外部マイク入力	標準マイク感度9mVrms±3dB ※入力インピーダンス:10kΩ
9	MICE	—	マイクGND	—
10	IO 1	I/O	—	—
11	IO 2	I/O	—	—
12	IO 3	I/O	—	—
13	IO 4	I/O	—	—
14	IO 5	I/O	—	—
15	IO 6	I/O	—	—

★ 位置情報出力として使用します。

■ 外部機器接続ケーブルの端子について

◇ D-sub 9ピン



端子番号	端子名	I/O	内容	条件
1	8C/5C	O	DC 5V	DC 5V ±10% Max300mA
2	TXDO	O	RS-232C通信(TXD)★1	RS-232Cレベル出力(−5〜+5V)
3	RXDO	I	RS-232C通信(RXD)★1	RS-232Cレベル入力(−15〜+15V)
4	RXD	I	—	—
5	GND	—	GND	—
6	TXD	O	—	—
7	CTSO	I	RS-232C通信(CTS)	RS-232Cレベル入力(−15〜+15V) ※RS-232Cフロー制御
8	RTSO	O	RS-232C通信(RTS)	RS-232Cレベル出力(−5〜+5V) ※RS-232Cフロー制御
9	OPT1	I	外部UNIT接続検出	最大5Vアナログ電圧入力★2 (5V 22kΩ内部プルアップ)

★1　GPSユニットとの通信、位置情報出力として使用します。
★2　誤検出を防止するため、不要な接続はお控えください。

■ 故障かな?と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。(P.10-5)

現　象	原　因	処　置	参照
電源が入らない	接続端子の接触不良	バッテリー、または卓上電源装置(別売品：PS-230A)との接続を確認する	—
	DC電源ケーブル(付属品)のヒューズが切れている	原因を取り除いたあとで、新品のヒューズと交換する	P.10-1
スピーカーやイヤホンから音が聞こえない	音量が最小に調整されている	ツマミを回して無線機本体の音量を確認する	P.1-1
	外部スピーカーの設定が正しくない	設定モードで、「スピーカー出力」の設定を確認する	P.8-11
	防水スピーカーマイクロホンや外部スピーカー端子の接触不良、または接続されていない	防水スピーカーマイクロホン、または外部スピーカーが正常に接続されているか、ケーブルが断線していないかを点検する	—
送信できない (プップッ…が鳴る)	5分間の送信時間制限が過ぎている	1分以上待ってから、もう一度送信する	P.2-2
	ほかの無線機が送信しているため、混信防止機能が動作している	受信ランプが消灯してから送信する	P.2-2
	上空用チャンネルになっている	CH01～CH82に移動する	P.2-2
通話できない	通話チャンネルが合っていない	相手と同じ通話チャンネルに合わせる	P.2-2
	ユーザーコードの設定が正しくない	相手と同じユーザーコードを設定する	P.3-1
	相手が秘話/拡張秘話機能を使用していない、または自分の秘秘話キー/拡張秘話キーの設定が異なる	お買い上げ時、秘話キー/拡張秘話キーが設定されている場合、秘話キー/拡張秘話キーが異なる相手とは通話できません	P.5-3
	相手局番号、またはグループ番号を間違えている	相手局番号、またはグループ番号を確認する	P.4-1
相手から応答がない	相手との距離がはなれすぎている	場所を移動してから通話してみる	P.2-2
通話チャンネル選択と送信出力切り替え以外の設定ができない	呼出用チャンネル(呼出CH)を設定している	通話チャンネル(CH01～CH14、CH16～CH82)に変更する	P.2-1
「キーロック」、「キーロック中」と表示される	ロック機能が動作している	ロック機能を解除する	P.5-1
モニター機能が使用できない	モニター機能を[P]で動作するように設定していない	設定モードで、Pキー長押し動作を「モニター」に設定する	P.8-9
スキャン機能が使用できない	スキャン機能を[P]で動作するように設定していない	設定モードで、Pキー短押し、またはPキー長押し動作を「スキャン」に設定する	P.8-10

■ 故障かな?と思ったら

現　象	原　因	処　置	参照
Bluetooth機器とペアリングできない	ペアリングモードになっていない	ペアリングモードにする	P.6-1
	周辺にBluetooth対応機器が複数稼働している	ほかのBluetooth対応機器を停止させる	—
		ほかのBluetooth対応機器のない場所に移動する	—
	周辺の無線LAN機器、または電子機器が妨害している	ほかのワイヤレス通信を停止させたり、周辺機器との距離をはなしたりする	—

■ アフターサービスについて

「■ 故障かな？と思ったら」(P.10-4)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- **保証書について**

  保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

- **弊社製品のお問い合わせ先について**

  お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

  お問い合わせ先:アイコム株式会社 サポートセンター
  0120-156-313(フリーダイヤル)
  ◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、
  06-6792-4949(通話料がかかります)
  受付(平日 9:00～17:00)
  電子メール:support_center@icom.co.jp
  アイコムホームページ:https://www.icom.co.jp/

11 定格

■ 無線機本体

送信周波数範囲	351.03125～351.10000MHz 351.20000～351.63125MHz
受信周波数範囲	351.03125～351.63125MHz
チャンネル数	82チャンネル(送受信)＋15チャンネル★1(受信)
アンテナインピーダンス	50Ω(不平衡)
電波型式	F1C/F1D/F1E/F1F
変調方式	4値FSK
使用温度範囲	−20～+60℃
電源電圧	DC13.8V±10% /DC26.4V±10%
接地方式	マイナス接地
消費電流	[DC13.8V時] 0.8A以下(待ち受け時) 1.6A以下(受信時)★2 2.5A以下(送信時：5W) 1.3A以下(送信時：1W) [DC26.4V時] 0.6A以下(待ち受け時) 1.1A以下(受信時)★2 1.8A以下(送信時：5W) 1.0A以下(送信時：1W)
送信出力	5W/1W(偏差：+20%、−50%)
低周波出力	4W以上(4Ω、10%歪時)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	−3dBμVemf以下★3 +5dBμVemf以下★4
外形寸法	125(W)×29(H)×181(D)mm(無線機本体のみ)
重量	約940g

★1 上空用チャンネル(S01～S15)
★2 4Ω負荷、音量最大時
★3 BER＝1×10^{-2} スタティック時
★4 BER＝3×10^{-2} フェージング時(最大ドップラー周波数が20Hzのレイリーフェージング)

Radio Communication Solutions
株式会社ジャパンエニックス
JAPAN ENIX CO.,LTD.

□ 東 京 本 社 03-5715-2351
□ 関 西 支 店 06-6583-7700
□ 名古屋営業所 052-908-1440
□ 九 州 営 業 所 092-432-9077
□ 札 幌 営 業 所 011-733-6120
□ 仙 台 営 業 所 022-290-9381

◀各住所は
こちらから

https://www.jenix.co.jp/

ICOM

アイコム株式会社
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7896-3J
© 2026 Icom Inc.
202610